

みどりの道

静岡市・静岡市山岳連盟



令和2年12月 一部改訂

みどりの道をたずねてみよう

鳥のさえずり 川のせせらぎを聴きながら

木もれ陽の中をとおりぬけたら

ほてった頬に 風がとつても気持ちがいいね

草むらに寝ころんで 青空を眺めていたら

心の中まで透きとおっていくみたい

家でのんびりの休日もいいけれど

みどりの道を歩いてみたら

明日もがんばろうと勇気がわいてくるかもしれない

たずねてみよう みどりの道を



「みどりの道」について

「みどりの道」は、平成七年に改定版として発行されましたが、以来、コースの変更など修正を加えながら再発行されてきました。

本書の人気は非常に高く、県外からも問い合わせがある程です。こうしたことから最近のハイキングブームを感じます。



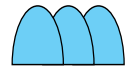

そのブームにより多くの人がハイキングに親しむようになりましたが、本書で紹介しているコースでもベテランハイカーの遭難や死亡事故が発生したり、ゴミのポイ捨てなどマナーの悪さが問題となっています。

ハイキングは自然を相手にします。マナーを守り、安全に十分気を配って楽しいハイキングにしましょう。さあ、「みどりの道」を片手に、ハイキングへ。

静岡市スポーツ振興課

コースの難易度

各コースのページに付けてあります。目安として参考にしてください。

難易度	説明
	ファミリーコース 比較的容易ですが、靴などはそれなりの準備をしてください。
	一般コース 学生が遠足に行くようなおなじみのコースです。
	経験者コース 勾配がきつく登る時間も長いので、心してかかってください。
	上級者コース 非常に危険です。上級者以外はおすすりできません。

ハイキングに出掛ける前に！

確認しておきましょう

1 早い時間から上り始めましょう。

よく、昼過ぎから上りはじめ、下る頃には日が暮れてしまい、道が分からず山中で一夜を明かしたという話を耳にします。

万一、道を間違えた時でも、早い時間であれば気持ちに余裕も生まれます。ハイキングの日には早起きして上り始めましょう。特に秋の日には釣瓶落としと言います。日没の時刻には気をつけましょう。

(※) もしもの場合早く救助されるために

一、家族等に行き先を具体的に話し、行き先計画メモを渡しましょう。二、複数人で出かける。三、携帯は救助の位置確認できるように電源は切らない。携帯で警察に連絡。ヘリ用に反射板等を持参。

2 着替えやお弁当の他にも行動食等軽い食べ物を持参し、飲料水は十分に用意しましょう。

汗だくで上った山頂に着いたら寒くて風邪を引いてしまった、などということにならないよう、調節できる衣類を持って行きましょう。また、予備の食料等も持参しましょう。特に、夏場のハイキングでは水のありがたさを実感します。

3 山の天気は変わりやすいです。

気象状況は必ず確認し、雨具は必ず持ちましょう。自分の体力と、年齢、経験に合ったコースを選びましょう。また、地図は必ず持参しましょう

どんな短いコースでも、歩いたことのない山道を歩くのは不安なものです。当日の健康状態も良く考えましょう。無理は禁物です。また、地図やGPSの携行をおすすめします。

5 マナーを守りましょう。

自然を愛するはずのハイカーの中に、ゴミを捨てたり、畑に入り込む人がいるのは非常に残念なことです。コースには、昔から農作業等に使われてきたものもあり、大半が個人の土地を歩くこととなります。ゴミは持ち帰る、畑には入り込まないなどマナーを守りましょう。

6 紹介文の中で、「駐車場を利用できません」と書いてある他は、コース中に駐車場はありません。

農道や林道へ駐車すると地元の人迷惑になりますので、バス等の交通機関を利用しましょう。

7 案内図上の林道や農道等は、変っている可能性があります。ご注意ください。

8 バスの運行や時刻等の問い合わせはこちらまで。

新静岡バス案内所 ☎〇五四二二五〇五

目次

「ファミリー・一般コース」

- ① 葛の細道〜旧東海道…………… 3
- ② 安倍の大滝…………… 7
- ③ 日影沢金山跡…………… 11
- ④ 日本平…………… 15
- ⑤ 歎宮院坂〜丸子城跡…………… 19
- ⑥ 梶原山〜帆掛山…………… 23
- ⑦ 大日峠…………… 27
- ⑧ だいらぼう…………… 31
- ⑨ 安倍城跡…………… 35
- ⑩ 朝鮮岩〜満観峰…………… 39
- ⑪ 花沢山…………… 43
- ⑫ 竜爪山…………… 49
- ⑬ 賤機山縦走…………… 53
- ⑭ 牛ヶ峰（高山）…………… 57

- ⑮ 大山…………… 61
- ⑯ 釜石峠〜突先山…………… 65
- ⑰ 真富士山…………… 69
- ⑱ 穂積神社〜帆掛山…………… 73

付録

- ※ 梅ヶ島地区のレクリエーション施設のご案内…………… 13
- ※ ちよつとひと休み…………… 47
- ※ 登山計画書・登山届…………… 77
- ※ 静岡駅・新静岡バス乗り場案内…………… 108

【梅ヶ島編】

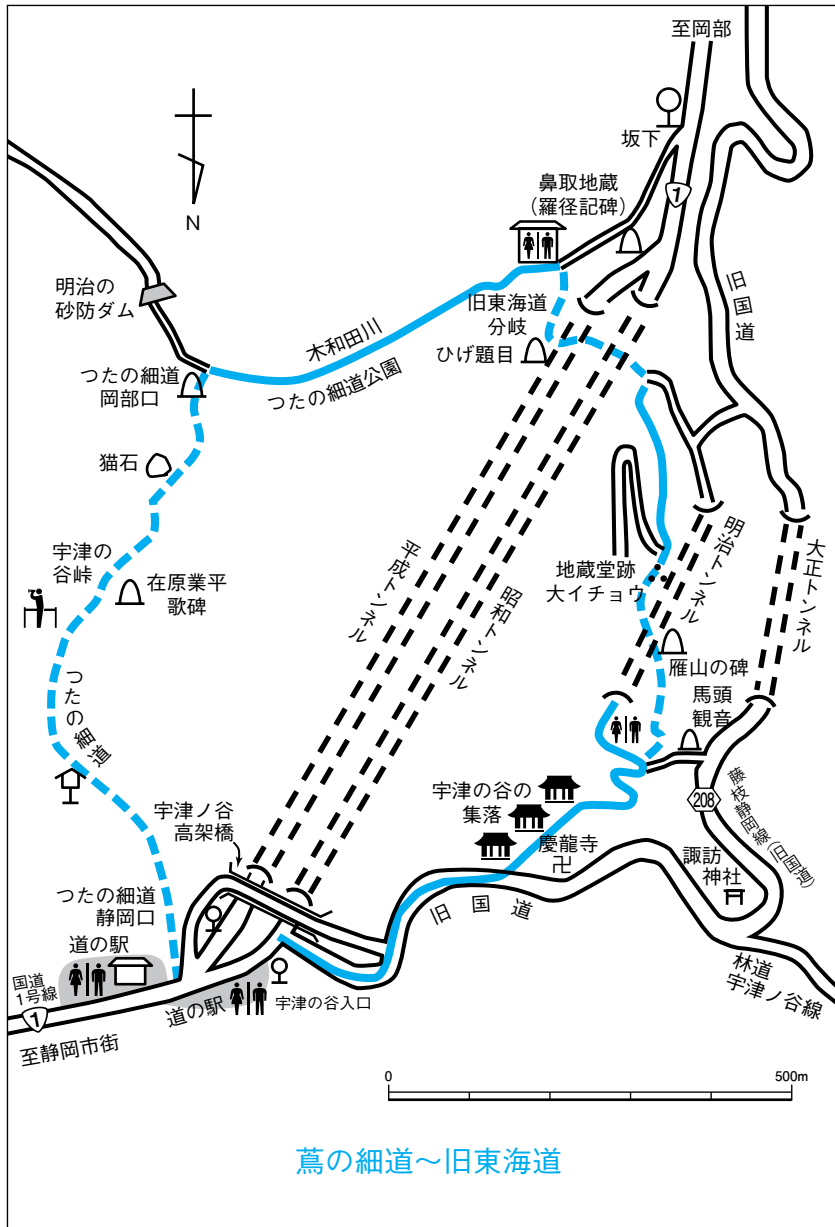
- ① 梅ヶ島温泉〜安倍峠…………… 82
- ② 梅ヶ島温泉〜八絃嶺…………… 83
- ③ 安倍峠〜八絃嶺…………… 84
- ④ 八絃嶺〜大谷嶺（崩の頭）…………… 87
- ⑤ 大谷崩〜大谷嶺（崩の頭）…………… 89

- ⑥ 大谷崩〜山伏…………… 91
- ⑦ 西日影沢〜山伏…………… 92
- ⑧ 山伏〜牛首〜笹山〜井川峠〜六郎木…………… 93
- ⑨ 草木〜大光山…………… 97
- ⑩ 大光山〜奥大光山〜安倍峠…………… 98
- ⑪ 関の沢〜十枚峠〜十枚山…………… 100
- ⑫ 十枚山〜刈安峠〜大光山…………… 101
- ⑬ 有東木〜葵高原〜地藏峠…………… 104
- ⑭ 地藏峠〜下十枚山〜十枚峠…………… 105
- ⑮ 地藏峠〜青笹〜浅間原〜下渡村…………… 107
- ※ 梅ヶ島地区のバス時刻案内…………… 102



凡例

	主要道路		展望地
	JR線		お手洗い
	私鉄		歴史的建造物
	バス停		公園
	神社・鳥居		温泉
	河川		
	みどりの道（車道）		
	みどりの道（山道）		
	東海自然歩道		
	山道（みどりの道対象外）		



1 鳶の細道～旧東海道

往路 バスのご案内 ※ 復路も同路線

JR静岡駅前から中部国道線藤枝駅前行…30分…宇津ノ谷入口下車

コースタイム

道の駅…20分…宇津の谷峠…15分…岡部側入口…10分…旧東海道分岐…10分…舗装道分岐…5分…山中への分岐…25分…明治トンネル・宇津の谷集落分岐…3分…明治トンネル入口…5分…御羽織屋・慶龍寺…5分…宇津の谷集落入口…10分…宇津ノ谷入口



つたの細道

鶯の細道〜旧東海道

鶯の細道は歌にも詠まれた万葉の小径。国道一号線沿いの道の駅西側から入ります。

入口から宇津の谷峠までは約30分。平安の古道そのままの山道を、昔日を偲びながら歩きましょう。薄暗い杉林の中を行くとやがて雑木林になり、階段状の道が緩やかになったら宇津の谷峠（二一〇m）です。

峠は樹木が伐採されてベンチが置かれ、以前に比べ広くなりました。伊勢物語で有名な在原業平の「駿河なる宇津の山べのうつつにも夢にも人の逢わぬなりけり」の句碑が富士山を背景に立っています。

峠から藤枝市岡部へは正面の下りの道を行います。岡部側の山道は短く、約15分で舗装道に出ます。途中、茶畑沿いの道の左側に「ねこ石」を見て、石段の道を下ると間もなく鶯の細道の岡部側入口に出ます。舗装道へ出たら右へ。ここから国道一号線手前の旧東海道入口まで、木和田川沿につたの細道公園が整備され、四阿やベンチのある芝生広場がお弁当を広げるのに最

先で舗装道に出ます。左は大正トンネルへの道。舗装道を右へ取り、すぐ先を左に下れば宇津の谷の集落への道、右へ回りこめばすぐにトンネル前の広場に出ます。広場にはベンチや明治トンネルの歴史についての説明板があり、20分もあればトンネルを岡部側まで往復してやることができます。

明治トンネルは全長二〇三m、明治九年に二四、八〇〇円をかけて築造された日本初の有料トンネルでした。当時は測量技術が未発達であったため「く」の字型に曲がってしまったようです。現在のトンネルは失火による焼失後、明治三十七年に静岡側を直線に手直しして造られたものです。赤レンガ調のトンネル内にはオレンジ色の灯がともし、レトロな雰囲気醸しだしています。（現在、明治トンネルは平日でも日中は灯を付けています。車両の通行はできません。）

明治トンネルから先の分岐まで戻り、右へ宇津の谷の集落へと下ります。宇津の谷の家並みは、一九九三年の第一回市民景観大賞で優秀賞を受賞した集落。最初のカーブを曲がった右側の階段下に延びるのが宇津

適です。10分程で公衆便所に着き、その少し先で右に旧東海道への道を分けます。旧東海道に入る前、道なりに少し行つた右側鼻取地蔵の境内に、文政十三年（一八三〇年）に駿河の代官が鶯の細道保存のために建てた羅徑記碑がありますので見ておきましょう。

鼻取地蔵から戻って左へ桜並木の旧東海道へ、石畳を過ぎるとすぐに山道へと変わります。右にひげ題目の碑に目をやり、さらに行くと、舗装道の分岐に出ます。左右どちらも宇津の谷の集落への道ですが、左は明治トンネルを経ての道、右は旧東海道経由の道です。明治トンネルと旧東海道の両方を歩きたいという人のために、先に旧東海道を歩き、宇津の谷側に出たところで明治トンネルを往復するコースを紹介しましょう。

先の舗装道の分岐を右へ緩やかに上つて数分、道が右へカーブする左側に山中への旧東海道の指導標があります。山中へ入って少しの左側、地藏堂跡には大イチョウがあり、落葉の季節に訪れれば一面、黄色のじゅうたんです。大イチョウを左に見て道なりに進みます。俳人雁山の碑を過ぎ、緩やかに下りながら馬頭観音の

の谷の集落です。階段を下りた少し先、左側に秀吉公から献上された羽織を所蔵する御羽織屋があります。

宇津の谷の集落には、この他にも伊勢屋、車屋のように各家には屋号がつけられています。御羽織屋から一〇〇m程で宇津の谷の集落入口に着きますが、御羽織屋の角を左へ曲がり、慶龍寺経由で集落入口に行くこともできます。慶龍寺は厄除け十団子で有名なお寺。境内には蕉門十哲の一人である許六の「十団子も小粒になりぬ秋の風」の句碑が建てられている他、観光トイレもあります。（十団子は毎年八月の縁日で売られます。）

慶龍寺の門前を右に回り込んで旧国道に出たら右へ少し行くと宇津の谷の集落入口に合流します。入口には幾つかの案内板が立っており、旧国道をさらに数分歩くと国道一号線に合流します。

2 安倍の大滝

往路 バスのご案内

- ※ 復路も同路線、梅ヶ島のバス時刻は103ページ参照。
- JR静岡駅前から安倍線梅ヶ島温泉行…1時間50分…安倍大滝入口
- もしくは終点梅ヶ島温泉下車

コースタイム

梅ヶ島温泉駐車場…10分…安倍大滝入口…10分…2つ目の吊橋…20分…奥大光山分岐…10分…大滝…40分…安倍大滝入口

- ※ 川の右岸・左岸は上流から河口方向を見て言います。

安倍の大滝

梅ヶ島地区で最も手軽で人気のあるハイキングコース。深谷沿いのコースには、滝までの距離を示す看板や鉄製の橋が整備されており、県道から1時間弱で大滝の展望台に立つことができます。また、吊り橋を渡るスリルも味わえるコースです。

バス利用の場合は梅ヶ島温泉手前の「大滝入口」で下車、バス停の少し先の看板から下って吊り橋の袂に出ます。車の場合は梅ヶ島温泉の無料駐車場に置き、県道を10分程下ると左に赤い支柱の吊り橋が見えてきます。（大滝入口にある旅館の有料駐車場を利用することもできます。）安倍川に架かる最初の鋼材でできた吊り橋を渡ります。揺れはほとんどなく、誰でも安心して渡ることができます。渡りきった場所にあるコース案内板に目を通しておきましょう。ここから大滝までは約一キロ、40分のハイキングです。

案内板を右に取り、鉄の階段を下るとすぐに、サカサ川に架かる二番目の吊り橋に出ます。長さは約五〇



m、最初の橋と比べるとワイヤーや足元の板切れも心もとなく、揺れも相当なものです。勇気を出して渡りましょう。

二番目の橋を渡るとサカサ川の左岸（注）を山道に入ります。ここから10分位は緩やかな上りの道です。やがて杉や松林を越え、美しい渓谷の中で鉄製の橋を渡ります。

橋から数分で右に奥大光山への登山道を分けます。（三河内〜奥大光山については「梅ヶ島編」を参照。）奥大光山との分岐から道を下り、三つ目の吊り橋を渡って川の右岸に道を取ります。橋を渡り終わって暫く行くと鉄の階段と橋があります。ここまで来れば大滝はもう目の前、階段の辺りから右上方を見ると滝から水が落ちてきている様子が眺められます。ここから2〜3分で展望台に到着です。

安倍の大滝は落差九〇m、幅四m。安倍奥一の大きさを誇る滝で水量も多く、滝壺の近くまで行くと水飛沫を頬に受けて、滝の大きさを実感できます。帰路は来た道を戻ります。



梅ヶ島温泉街



梅ヶ島新田温泉 こがね 黄金の湯



3 日影沢金山跡

往路 バスのご案内

※ 復路も同路線、梅ヶ島のバス時刻は103ページ参照。
JR静岡駅前から安倍線梅ヶ島温泉行：1時間45分：
新田温泉黄金の湯

コースタイム

魚魚の里…30分：八幡神社跡…10分：坑道跡・山神
分岐…5分：紅葉橋…10分：仏山…20分：奉行屋敷
跡…5分：魚魚の里



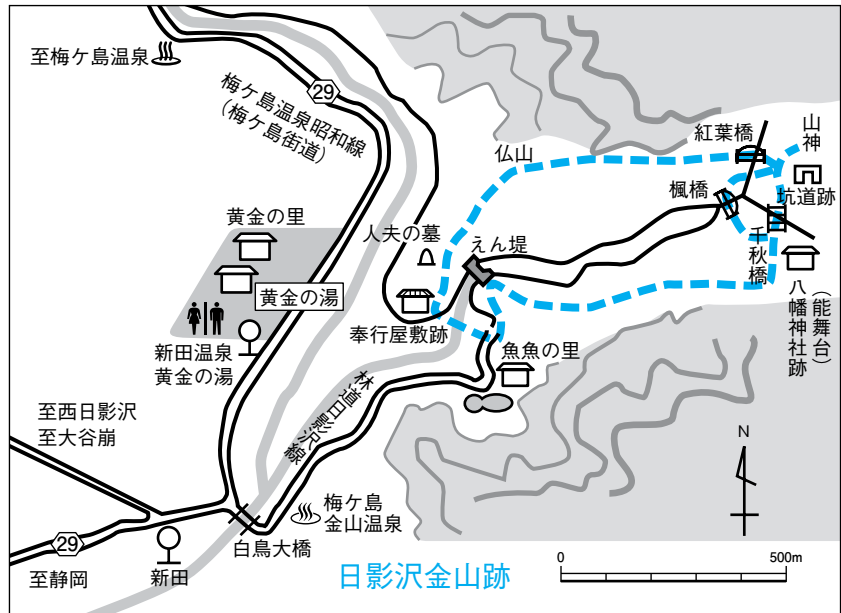
日影沢金山跡

今川氏の金山として、天保二年（一八三一年）閉山に至るまでの約三〇〇年間、金が掘られていた日影沢金山跡を訪ねるコース。上り下りに少し急な場所はありませんが、「日影沢金山遊歩道」としてコース途中には説明板や木製のベンチが整備されており、安倍の大滝と共に、梅ヶ島を訪れた折には是非訪ねてみたい周遊コースです。

梅ヶ島行のバスを新田温泉黄金の湯バス停で下車、ここから少し戻って、はくちよう大橋を渡り左折した先に日影沢親水園「魚魚の里」があります。ここは養殖されたヤマメを釣ったり、囲炉裏を囲んでヤマメ山菜料理が味わえる施設です。

車の場合はこの「魚魚の里」の駐車場が利用できます。「魚魚の里」を通り過ぎた先の最初のえん堤あたりの右山側の階段がコースの入口となります。

S字カーブを登り切ったところから灌木の間のなだらかな道を下ったあたりから少し開けてきて、住居跡の石積みが見えてきます。ここを廻り込むと広場に出



ます。ここは八幡神社跡で能舞台風の休憩所があります。さらに道なりに進み、千秋橋を渡りそのすぐ先の長盛橋の途中右手に金山坑道跡があります。この先の指導標のある分岐を5分程登ると小さな祠の山神様が奉られています。

分岐に戻って「奉行屋敷跡」への指導標に従って歩いて5分程で吊橋（紅葉橋）に出ます。ここからは、階段上の急な登りとなり、約10分で仏山の尾根（塔頭の尾根）に出るとあとは杉木立の中を道なりに進み、急な下りをやり過ぎたあたりには、金掘衆の墓が散在しています。さらに5分程の下りで奉行屋敷跡にでます。

ここからは河原を渡り対岸の日影沢親水園に戻ります。※ コースの最後に河原を渡るが、増水していれば渡れないので、登り始める前に安全に渡れるか確認すること。奉行屋敷跡まで来てから増水に気がついたら無理に渡らず、コースを戻ること。

梅ヶ島地区の

レクリエーション施設のご案内

一、梅ヶ島新田温泉黄金の湯

(☎〇五四―二六九―二六一五)

- ・場 所 梅ヶ島新田温泉黄金の里地内
- 約一五〇台の無料駐車場を利用。
- ・営業時間 九時三〇分～十七時三〇分
(季節により異なります。)
- ・休業日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
- ・料 金 (二日)
 - 大人 七〇〇円
 - 子供 (小学生) 三〇〇円



二、市営梅ヶ島キャンプ場

(☎〇九〇―二七七―三十四〇二六)

- ・場 所 静岡市葵区梅ヶ島三一九八
県道二十九号線を北上。約一〇〇分走り
梅ヶ島キャンプ場の看板を左折。
- ・営業時間 チェックイン 十二時～十七時、
チェックアウト 翌日一〇時
- ・休業日 年末年始(十二月二十九日～一月三日)
- ・料 金 一泊(テント持込 六七〇円、貸出一、
一八〇円、バンガロー 八、八〇〇円)
- ・施設 温水シャワー(夏季のみ)、水洗トイレ、
各種用具の貸出あり(有料)
- ・申込み 利用の一週間前までにキャンプ場へ電話
予約。直接来場は利用不可。



三、梅ヶ島コンヤの里レクリエーション施設

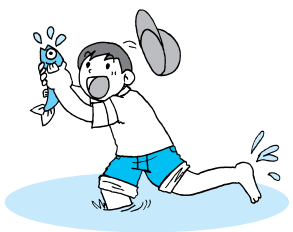
(☎〇五四―二六九―二三二八)

- ・場 所 梅ヶ島温泉街より三キロ手前。梅園の向
かい。
- ・営業時間 九時～二十時(季節により異なります。)
- ・休業日 年末年始(十二月二十九日～一月三日)
- ・料 金 (二面一時間)
 - 平日 一、〇〇〇円
 - 土・日・祝日 一、五〇〇円
- ・申込み 照明料 一時間 五〇〇円
電話で二ヶ月先まで予約可能。

四、日影沢親水園 魚魚の里

(☎〇五四―二六九―二三八〇)

- ・場 所 新田バス停先はくちよう大橋を渡り左折
つきあたり。
- ・営業時間 一〇時～一七時(季節により異なります。)
- ・休業日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、
年末年始は未定
- ・料 金 釣り池 二、〇〇〇円(四匹まで)
つかみどり 三、八〇〇円(一kg)
- ・施設 釣り池、つかみどり ほか



往路 乗物のご案内

新静岡から静岡鉄道：12分：県立美術館前駅下車
 (急行は停車しません)

コースタイム

美術館前駅：10分：やぶきた母樹分岐：30分：学園運動場：20分：平沢寺：10分：案内板：20分：舗装道：20分：清水馬走分岐：20分：案内板：10分：日本平山頂：5分：ロープウェイ乗場：5分：久能山：20分：久能山下バス停

復路 乗物のご案内

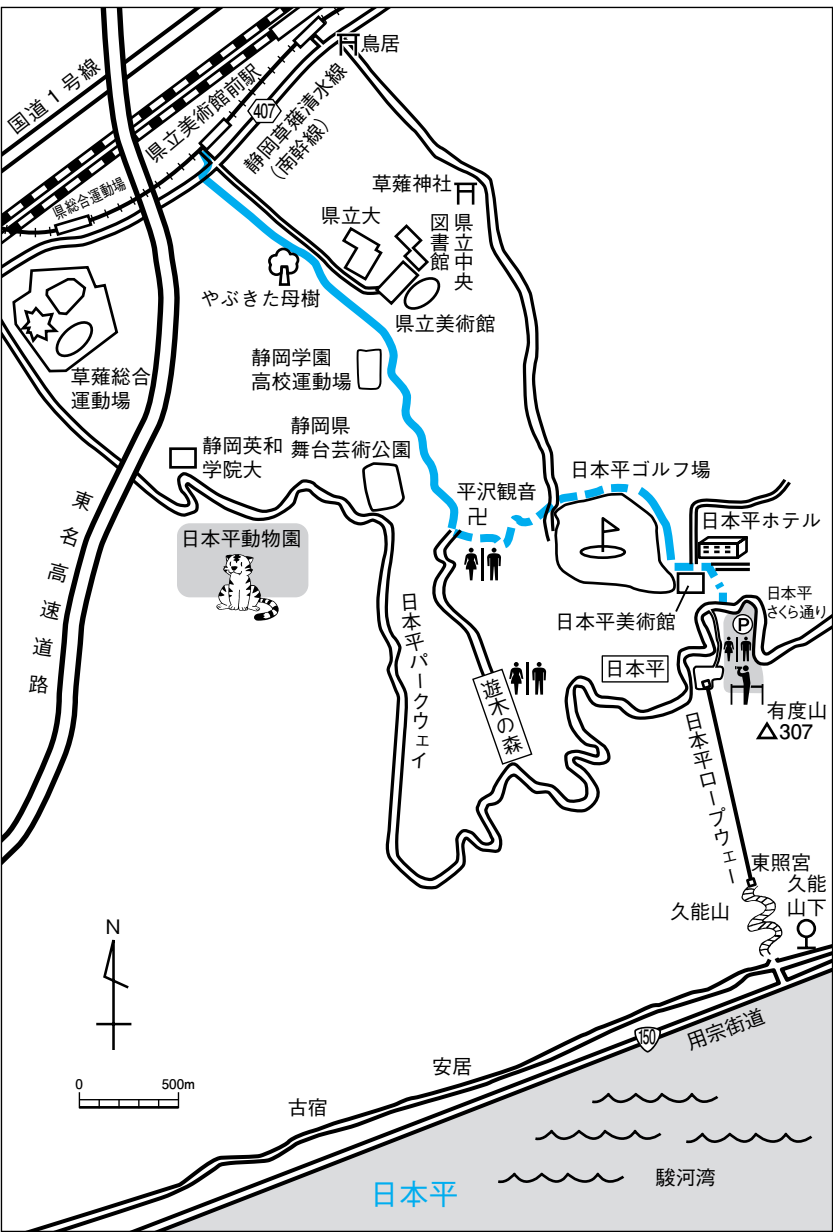
・日本平ロープウェイは10～15分間隔で運行しております。終了時刻は16時～17時です。(季節により異なります。)

静岡鉄道株式会社日本平ロープウェイ営業所
 (☎〇五四一三三・四二〇二六)

・久能山下バス停から石田街道線：40分：JR静岡駅南口



へいたくじ 平澤寺



このコースは市街地のハイキングコースとして起伏も少なく、家族連れには最適です。車で行くのとは異なり、古寺を巡りながら鉄塔の立つ山頂を目指して歩いてみると、また違った発見があるかもしれません。

日本平山頂へのハイキングコースは、旧清水方面からのものを含めて幾つかありますが、本書では、静岡県立美術館前駅から平沢観音を経て山頂へと至るコースを紹介いたします。

静岡鉄道を美術館前駅で下車、道路へ出たら左へ、きれいに整備された並木道を美術館方面へ緩やかに坂を上って行きます。駅から数分歩くと右に「谷田宮の後公園」があり、その先を右折「やぶきた茶の母樹」を左側に見ながら平沢観音へと向かいます。

ここから平沢観音までは約50分、突き当たりの製茶工場を左折、田園風景が残る閑静な住宅街を数分歩いた先の分岐を平沢観音の看板に従って左へ曲がります。分岐の少し先、人家が途切れた辺りからは茶畑越

しに山頂のテレビ塔が望めます。やがて神社や静岡学園の運動場を過ぎ、茶畑の広がる風景の中を緩やかに上り切ると正面、平沢の集落の中へのぼりが立つ平沢寺があります。平沢寺は駿河七観音の一つの古寺。毎年二月の節分柄には多くの人で賑わいます。

ハイキングコースは、平沢寺の石段を上りつめた観音堂の裏手の道を左に進みますが、平沢寺駐車場の手前の道を左へ上っても同じ場所に出ます。墓地を右に見ながら進むと、山中へと下り始める場所の右側に案内板があります。右側の道を下って暫く行くと道の両側の土がむき出しになっている切り通しの細い上り道に出ます。探検気分が進みましょう。

右にゴルフ場を見ながら緩やかに上って行くとやがて道は下りとなり、階段を下りて一端、道路に出ます。道路を三〇m程左へ進み標識を右へ再び山中へと入ります。

フェンス沿いに進み、左へ少し下ると石畳の階段が続いています。やがて山道へと変わり、ゴルフ場に沿った道の先を左へ曲がると道は二方に分かれます。すぐ

上で道は合流、ゴルフ場に沿った緩やかな上りの道を進みます。数分歩き、擬木の階段を上った所が清水馬走方面との分岐です。ベンチが置かれていますので一息入れましょう。

この先で山中ともお別れ、分岐の先を右へ回り込んで一〇〇m程で舗装道になり、そのまま真っすぐに進みます。日本平ホテルを過ぎた先で道は左へ曲がりますが、未舗装の道を直進します。数分歩くと道路に出、正面の階段を上った少し先にテールやベンチ、大きなハイキングコース案内板があります。正面右側に目を向ければ、遠くに見えていたテレビ塔が間近に迫っています。

山頂の展望台へはそのまま直進し、売店が立ち並ぶ駐車場からの坂道を進み、赤い靴の銅像を越えた先が三〇八mの日本平山頂です。山頂からは富士山を背景に清水港や、清水三保、伊豆半島などを望むことができます。休日には観光バス等で大勢の観光客が訪れます。

帰路は来た道を引き返しても良いのですが、ロープウェイに乗って久能山に渡り、バスで静岡駅に帰る方

法も変化に富んでいて面白いと思います。乗物の運賃が少し多めにかかりますが、東照宮参詣や駿河湾の風景、また、一月〜五月初めの石垣イチゴの時期であれば、イチゴ狩りを楽しむこともできますので参考に紹介します。

山頂からは標識に従ってロープウェイ乗り場まで行きます。駐車場まで階段を下りると大きな土産物店の中に乗り場があります。(ここからは、静岡駅行きのバスも出ています。)ロープウェイの長さは約一、〇〇〇m、屏風谷などを見ながら5分で久能山駅に到着です。(東照宮参詣は有料) つづら折の石段を15分程下ると土産物店が立ち並ぶ参道入口に着きます。バスは海岸沿いの国道一五〇号は通らず、一つ手前の交差点を左に一五〇m程行くと右に「久能山下」バス停があり、40分でJR静岡駅南口に到着です。



復路 バスのご案内

二軒家バス停から中部国道線：25分：JR静岡駅前

コースタイム

- ・牧ヶ谷：35分：石碑分岐：15分：峠：15分：歡昌院墓地：10分：柴屋寺：5分：丸子城跡登り口：30分：北城跡：5分：南城跡広場：20分：誓願寺
- ・5分：二軒家バス停
- ・誓願寺：30分：大鉦不動尊

往路 バスのご案内

JR静岡駅前から牧ヶ谷線小瀬戸行：25分：牧ヶ谷下車

5 歡昌院坂～丸子城跡



丸子城跡、南城跡広場

歎昌院坂〜丸子城跡

牧ヶ谷から歎昌院坂を越えて柴屋寺、丸子城跡、誓願寺と歴史を訪ねるコースです。

牧ヶ谷バス停で下車したら五〇m程戻り、一つ目の信号を右折、牧ヶ谷の集落へと入ります。少し歩くと正面に観音堂が見えてきますので、指導標に従い観音堂の左の道を行います。次第に人家は少なくなり、林道の看板を過ぎて10分程で歎昌院坂の分岐に出ます。

分岐には昭和三年に建てられた石碑があり「左、歎昌院坂を経て東海道。右、山道。」と読み取れます。左へ道を取り、山中へ。ここから峠までは林間の登り道を15分。道なりに歩けば迷うことはありません。正面が明るくなり、切り通しの細い道を越えると木立に囲まれた峠に出ます。眺望は利きませんが、一息入れるにはちょうど良い広さです。

峠から歎昌院方面へは下りの道を行います。数分で農道に出ますので右へ曲がり、すぐ先の鉄製階段を降りて再び山中の道を行います。（※農道に出て左に曲

がり、約一・八キロ（25分程度）農道を歩いても歎昌院に出ることができます。）金網沿いの細い道を行き、数分下ると歎昌院の墓地の裏手に出ます。道路に出たら右へ曲がり、道なりに10分程歩くと左に吐月峰柴屋寺があります。

柴屋寺は今川氏に仕えた連歌師宗長が、晩年に庵を結んで余生を送ったお寺。庭園は天柱山、丸子富士などの周囲の山々を借景として取り入れたもので、国の名勝・史跡に指定されています。柴屋寺から数分歩き、右に泉ヶ谷の公民館を過ぎると駿府匠宿おもしろ体験館があります。（ここでトイレを利用することができます。）

丸子城跡へは、おもしろ体験館のすぐ横を右へ入り、民家の庭先を通りすぎた先の分岐を左へ、丸太の階段状の道を上ります。すぐ先には、梅の木が数多く植えられており、二月の開花時には素晴らしい花が眺められます。梅の木の間に抜けて階段を上ること10数分で、小さな祠・丸子稲荷神社のある尾根に出ます。この辺りも空堀跡や外曲輪等の遺構が見られます。

丸子城は室町時代から戦国時代にかけて、今川氏（北城）と武田氏（南城）によって築かれた山城。祠から暫く行くと三日月堀に出ます。守りやすく攻められにくくするため、三日月の形に堀を掘ったもので、上から見ると三日月の形に弧を描いている様子がよくわかります。三日月堀を左に取り、道なりに進み、土塁、曲輪（曲輪とは城の囲いのことを言います）、木戸口、空堀等、昔の山城の面影が随所に残っている山道を行くと数分で、今川氏の本丸跡である北城北曲輪跡に出ます。木のベンチが置かれていますが、あまり広くはありません。

北城跡から歩くこと数分で武田氏の南城本丸跡に出ます。眺望は利きませんが、一帯は広場になっており、説明板が建てられています。誓願寺、大鈿方面へは、南城跡広場の突き当たり左から指導標識に従い山中を下ります。階段状の道を下り15分位で平地に出たら民家沿いの細い道を進み、道路に出れば正面が誓願寺です。

誓願寺は源頼朝創建のお寺。境内には、方広寺大仏

開眼供養の後に起こった「鐘名事件」で有名な、片桐且元夫妻の墓があります。片桐且元は、豊臣家を代表して家康への説明のために駿府へ下った折、誓願寺に泊まりました。境内の池にはモリアオガエルが棲息し、五月〜七月には産卵風景を見ることが出来ます。また、駐車場内には観光トイレがあります。誓願寺を出て右へ行くと数分で国道一号線に出ます。バス停は左側に、本数は多いので安心です。余力のある人は、誓願寺を出たら左へ道を取り、山中へ進めば約一・三キロ、30分で大鈿不動尊に着きます。

大鈿不動尊は、沢沿いの岩場に不動明王像が奉られており、毎月二十八日の縁日には大勢の人で賑わいます。新緑や夏の時期には沢のせせらぎが涼しく感じられ、国道の喧騒から離れて一度は訪れてみたい場所です。

6 梶原山と帆掛山

往路 バスのご案内

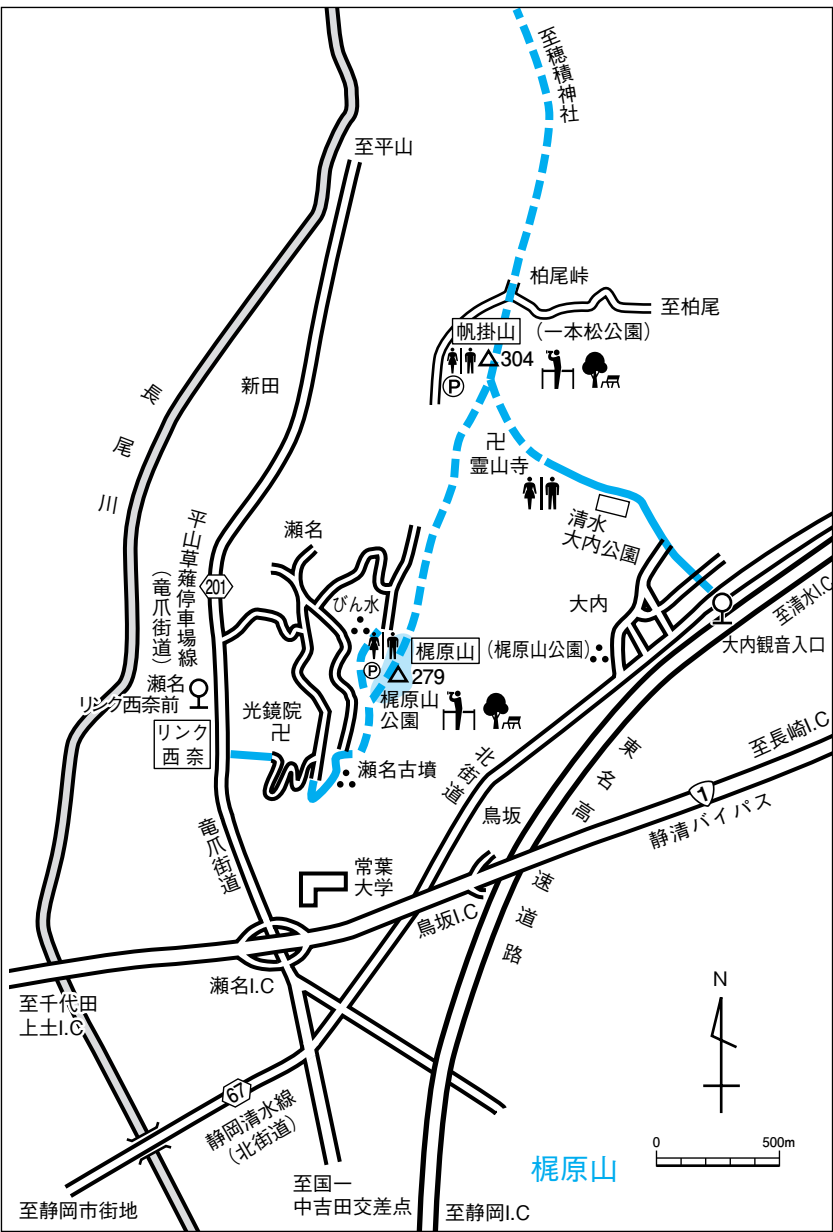
新静岡・JR静岡駅前から竜爪山線瀬名新田行：25分
 ……瀬名リンク西奈前下車

コースタイム

瀬名：5分：光鏡院：20分：分岐：15分：登り口：
 20分：びん水跡：5分：梶原山：20分：帆掛山：20
 分：霊山寺：10分：舗装道：20分：大内観音入口バ
 ス停

復路 バスのご案内

大内観音入口バス停から北街道線：30分：JR静岡駅
 前



梶原山からの風景

梶原山と帆掛山

静岡市北部の梶原山は、鎌倉時代の梶原一族（※）ゆかりの山であり、市街の眺望の素晴らしさから遠足でも人気の高い山です。

元農協西奈支店の角を左へ曲がり、正面の光鏡院まで歩きます。石碑右側の舗装道を行くとすぐに「梶原一族いくさの跡」を記した大きな看板が目に入ります。梶原一族の歴史に触れながら、これからのコースを訪ねてみましょう。幅の広い農道を道なりに上り、20分程度で分岐を右へ曲がります。竜爪や大山、安倍城跡等、上るにつれて広がる風景を楽しみながら歩きます。分岐から数分で右に瀬名古墳群があり、これを過ぎて暫く行くと山中への登り口に着きます。

茶畑の中に延びる細い道を抜けて山中へ、少し上った後は茶畑の中の緩やかな道を行きます。登り口から約10分、茶畑の途中で右に清水港方面へ眺望が開け、振り返れば静岡市街地方面も見渡せます。右に反射板を見ながら数分で林の中へ、清水鳥坂方面との分岐を

過ぎた後、しばらくすると梶原山山頂とびん水との分岐があります。先にびん水へ行き、その後、梶原山山頂を目指しましょう。分岐を左へ向かいしばらくすると左手にびん水へ下る擬木の階段があります。

びん水とは梶原親子が自害する前に乱れた鬢（びん、頭の左右側面の髪）を直し、喉の渇きを潤したといわれる湧き水の跡です。

もと来た道に戻り梶原山山頂（二七九m）に向かいます。山頂とびん水との分岐を過ぎると左手に少し急な登りと右手に擬木の柵のコースがありますが、左手のコースを登ります。

山頂には梶原景時親子の供養塔の他、簡素な四阿やベンチが置かれています。山頂からは、東に富士山や旧清水市街、南に日本平、西に静岡市街、北に竜爪、竜爪と市街の間には鉄塔を乗せた大山も見えます。

山頂で休憩したら帆掛山へと歩を進めましょう。山頂北側の尾根道を進みます。

ここから帆掛山までは約20分。やがて茶畑沿いの道となり、左には竜爪がきれいに見えます。竹林を過

ぎ、正面茶畑越しに反射板が見えたらそこが帆掛山山頂（三〇四m）です。

反射板の袂に広がる山頂は一本松公園として四阿やベンチが整備されています。視界も広がり、山原越しに見える富士山は勿論のこと、特に眼下に広がる清水市街や港から日本平にかけての風景は素晴らしいものがあります。手前の山越しに静岡市街も小さく望むことが出来ます。帆掛山は昔、ここに植えられていた松が遠くから船の帆のように見えたことからその名がつけられたと言われています。

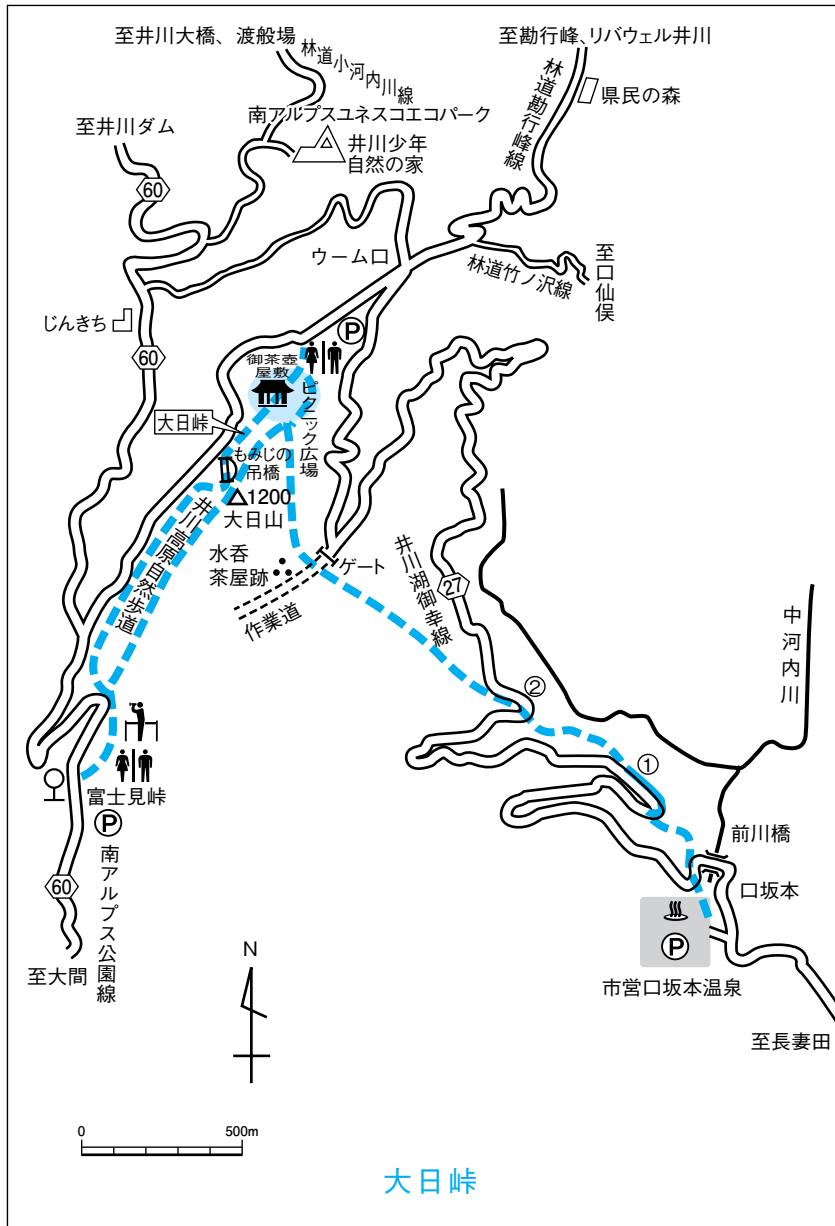
山頂からさらに奥へも道が続いていますが帰路は清水大内方面へ下ります。山頂から来た道に戻り、階段を下りた所を指導標に従い左へ、山腹の細い下り道をジグザグに下ります。足を滑らせないように気を付けましょう。約15分で丸太橋を渡り、建物を右に見ながら下って回り込めば霊山寺に到着です。

霊山寺は奈良時代に行基によって開かれ、「駿河七観音」の一つに数えられる由緒あるお寺。本堂には古い写真や木札が飾られ、天井には墨絵で龍が描かれて

います。また、一五一六年に建立されたカヤ葺きの仁王門（重文）からは市街が一望できます。

仁王門を過ぎて丁石に従って階段を下ると約10分で舗装道に出ますので左に曲がり、道なりに案内板や公園を過ぎて行くと北街道に出ます。静岡方面のバス停（大内観音入口）は信号を渡った右側。バス停から振り返れば、山の中腹に霊山寺の本堂や仁王門、さらに尾根には帆掛山の反射板が見えます。北街道線のバスに乗って約30分でJR静岡駅に到着です。

（※）梶原景時は源頼朝を石橋山合戦で命を助け、後幕府の御家人を取り締まる目付役となります。しかし、頼朝の急死で立場が逆転し御家人たちから鎌倉を追放されました。一二〇〇年、京に逃亡途中狐ヶ崎で戦となり景時、景季親子は梶原山で討ち死にしました。



7 大日峠

往路 バスのご案内

※ 復路も同路線

JR静岡駅前から安倍線上落合行：80分：終点下車
 市営浴場まで五キロ。

コースタイム

市営浴場駐車場：5分：民宿登り口：20分：林道15分：擁壁の分岐：15分：林道急坂：40分：水呑茶屋跡：20分：大日峠：65分：市営浴場駐車場

復路 バスのご案内

大日峠から口坂本に戻らずに、富士見峠よりバスを利用することもできます。
 富士見峠バス停から井川地区自主運行バス：30分：横沢、横沢バス停から安倍線新静岡行：70分：新静岡



ピクニック広場

井川地区自主運行バスについての問い合わせ先
 ◇井川地区自主運行バス管理事務所

☎〇五四―二六〇―一五〇―一

◇静岡市交通政策課

☎〇五四―二二二―一〇二五

昔の大日峠は井川と静岡を結ぶ重要な峠道でしたが、林道の開発により今では歩く人もほとんどなくなりました。口坂本温泉から大日峠までのコースを紹介、併せて大日高原の自然歩道にも簡単に触れたいと思います。「歴史と文化の街道・大日古道」として整備されており、口坂本には民宿も5軒程ありますので、温泉をベースにした楽しいハイキングコースになるものと思います。

乗用車の場合は市営口坂本温泉浴場の駐車場を利用できますが、バス利用の場合は上落合バス停から市営浴場まで、約五キロの長い車道歩きになります。市営浴場の看板に従って県道から左へ駐車場まで下ります。(県道から駐車場までは交互通行の道、表示ランプに気を付けて下さい。)駐車場の「大日古道」の案内板がスタート地点です。市営浴場の玄関脇を通り、沢に架かる左側の橋を渡って県道に出ます。正面右、民宿の看板と共に「大日古道登山口」の指導標があり

ますので、そこから坂を上ります。

登山道脇には昔の観音跡の案内杭が一番から三十三番(途中で欠落もあり)まで設置されていますので、数えながら歩くのも楽しいでしょう。

ここから水吞茶屋跡までは約1時間20分、何度か林道を横切って進みます。民宿の門前を過ぎた先の分岐を指導標に従い左へ、茶畑を抜けて山中へと入ります。幅の広い山道を20分程上ると林道に出ますので、右へ林道を歩きます。回り込んで暫く行くと右に民家がありますので、その少し先を指導標に従い右へ擁壁を上ります①。

細い道を過ぎて再び林道へ出たら、正面の急な道を上ります②。急坂を上って暫く行くと植林帯に入り、ジグザグに高度を稼いで行きます。木に巻かれたテープや黄色いプレートを頼りに進めば迷うことはないでしょう。途中の「16番」地点は口坂本から大日と峠への中間地点に当り、昔茶店があり、うどんやおかずを売っていました。林の中に残る石垣は水田の跡です。さらに進むと林間に地すべり観測用の「グラフ付伸縮

計」が設置されています。

林間を上り切ると作業道に出ますが、作業道を横切って直進すると、すぐに水吞茶屋跡があります。昭和三〇年頃まではこの場所に茶店があったようです。

今では小さい湧き水の池が残っているだけで当時の面影はありません。ここまで来れば大日峠まではもうひと頑張り、約20分の道のりです。

峠には大日如来の碑と共に幾つかの指導標が立っており、すぐに大日高原のピクニック広場に出ます。広場には休憩舎、徳川家康公お茶蔵の御茶壺屋敷、トイレなどがあり、広い芝生の上でお弁当を広げるには最適の場所です。

このピクニック広場から富士見峠までは自然歩道として周遊コースが整備されており、1時間30分〜2時間位で一周することができます。自然歩道沿いには今まで歩いてきた杉や松林とは異なった自然林が広がっており、高低差も少ないので、余力のある人は大日峠から一周してみましよう。また、乗用車やバスを利用して、大日高原の周遊コースだけを楽しむ方法もあり

ます。

以下、簡単に大日高原自然歩道を紹介します。

(大日峠〜稜線コース)

富士見峠〜林間コース〜大日峠

大日峠から左へ、鉄塔を越えお茶壺屋敷跡(10分)

大日山三等三角点、眺望はあまり利きません(15分)

あずまや風の稜線避難小屋(15分) 展望広場(5分)

富士見峠。

展望台、観光トイレ、バス停あり。冬期以外の日曜

祭日には朝市が開かれます。バス停の向かいには、三

ツ峰の遊歩道が整備されています。

(5分、元の道を戻る) 展望広場、左隅から(15分)

林間ピクニック広場(5分) もみじの吊り橋(10分)

南アルプス展望台、眺望はあまり利きません(5分)

牛の放牧(10分) ピクニック広場(3分) 大日峠

だいらぼう

大男ダイダラボッチの伝説や、山頂の広さで市民に親しまれている山、だいらぼう。

中葦科子ども園バス停先の富厚里橋を渡り、そのまま直進、荒沢川沿に山中へ入ります。ここから富厚里峠までは二キロ少し、45分程の舗装道歩きです。途中、何度か休憩し、道の両側に竹林が広がる場所を過ぎたらもうひと頑張りで峠です。峠にはお地蔵様が祭られていて、道行く人を見守ってくれています。

だいらぼうへの登り口は峠を少し岡部側へ下った左側にあり、「だいらぼう登山口」という看板が出ています。入口から少し登り、遠方の景色を眺めることができる箇所を過ぎ、杉や松の植林帯の中に入ります。林道に出たら、指導標に従って左へ向かい再び山中へ、入口から約20分で左に大きく風景が開けた茶畑に出ます。ここからの眺望は素晴らしく、富士山や南アルプス、安倍奥の山々が連なる雄大な風景です。手前には無線中継塔を乗せた大山も望めます。

(西又峠にしまたけだいらぼう)

近年、西又峠からの登山者も多いようですので登りのコースを紹介します。

小瀬戸バス停から西又峠までは約二・五キロ、45分の車道歩きです。すれ違う車も少ない道路を、集落を抜けて上っていくと道幅が広くなった峠に出ます。登り口には大きな看板があり、「だいらぼうまで90分」とありますが、もう少し早く着けそうです。

擁壁沿いの急坂を上り切ると道は緩やかになります。竹林や茶畑を過ぎ林間の道を上ると25分位で、右に風景が開けます。再び道を上った後は、整然と植林された緩やかな道を進みます。暫く行くと右に大きく風景が開けます。前方に伐採地が見えますが、だいらぼうはそのすぐ向こうです。林の脇道を上った先の分岐を右へ、林を抜ければ草場が目に入り、山頂に到着です。

うす暗い植林帯に入る手前左側にはショウジョウバカマの群生地があり、三〜四月頃には可憐な薄紫の花を付けます。丸太で所々土止めをした道を進み、二番目の人形を過ぎれば頂上は目の先です。景色が開けたら左下方を見れば広い草場が広がっており、左に階段を下るか、そのまま林の中を回り込んで草地に出ることもできます。

山頂広場は大男の左足の形をしており、テーブルがある辺りがちょうど土踏まずにあたります。山頂の草地は長さ約一五〇m、ソフトボールもできそうな程で、他の山々に比べても山頂の広さでは群を抜いています。それにしても、この山頂を大男の足跡と考えると何とスケールの大きい話でしょうか。思わず天を仰いで、想像に夢を膨らませてしまいたいそうです。帰路は、西又峠を経て小瀬戸へと下るコースもあります。

林道が延長し、山頂のすぐ近くまで車で来れるようになりましたが、やはり自分の足で登頂できれば感動もひとしおです。

9 安倍城跡

往路 バスのご案内

JR静岡駅前から藁科線中小屋行他：25分・羽鳥下車

コースタイム

羽鳥：35分・洞慶院：40分・三十三番石仏：25分・
久住砦跡、増善寺分岐：20分・安倍城跡：5分・増
善寺・西ヶ谷分岐：20分・西ヶ谷・内牧分岐：5分
・茶畑分岐：20分・農道：20分・内牧下バス停：10
分・狩野貞長公墓所：15分・安倍口新田バス停

(他の登り口からの所要時間)

・内牧コースー内牧下バス停から安倍城跡まで、90分
・西ヶ谷コースー西ヶ谷総合運動場から、85分
・増善寺コースー増善寺駐車場から、75分

復路 バスのご案内

・内牧コース 安倍口新田から美和大谷線：25分……

JR静岡駅前

・西ヶ谷コース 西ヶ谷総合運動場から西ヶ谷線：25分・JR静岡駅前、又は、下与左エ門から美和大谷線

：20分・JR静岡駅前

・増善寺コース 慈悲尾南から千代慈悲尾線：20分・

JR静岡駅前



安倍城跡



安倍城跡

安倍城跡は今から約六〇〇年前の南北朝時代、南朝方の武将として活躍した狩野貞長の居城跡。貞長公はここを居城に北朝方の今川氏に対抗しました。城跡からは静岡市街が一望でき、市街地に近いこともあって人気の高い山です。安倍城跡の袂に架かる狩野橋は貞長公に由来して名付けられたものです。

羽鳥バス停で下車したら県道を渡り、「洞慶院」の看板に従って久住谷川沿いに進むと約30分で洞慶院に着きます。洞慶院は梅の名所、境内には梅園が広がり、毎年二月の開花期には大勢の人で賑わいます。登り口は境内を指導標に従って進むと、鐘楼の向かいにあります。ここからは三十三体の石仏に導かれての道。細い線で彫られた仏像を数えながら緩やかな道を上ります。木の根が露出している所が多いので足元には気を付けましょう。

登山口から約40分で三十三番石仏に到着、安倍城跡まではちょうど半分です。この先は緩やかな上り下りの林間の道。はっきりした道が続き、やや急な植林

ゲート付近にバス停があります。

内牧へは先の分岐を左へ下ると間もなく茶畑に出ますので、指導標に従ってモノラックの手前を右へ林間の道を下ります。15分程で農道に出ますので内牧の集落へ下ると20分で内牧下バス停に出ます。

狩野貞長の墓は道路を右へ曲がり、最初の橋を左折、道なりに進み少年院を過ぎた少し先、左側の高台にあります。バス停は道なりに右方向に進めば、15分で美和街道沿いの安倍口新田バス停に着きます。内牧は登り口としても利用されており、内牧下バス停から道なりに30分で山中への登り口、そこから50分で安倍城跡です。

(西ヶ谷⇨安倍城跡)

西ヶ谷から安倍城跡へのルートは二つありますが、先に述べたように増善寺とつながる南側のルートは急坂ですので北側のルートを紹介します。総合運動場バス停から道なりに清掃工場の方向へ回り込むと、三叉路正面の公園に案内板があります。左に道を進み、一〇〇mほど先の分岐を右へ行くと15分で登り口があり

の登り坂を登ります。目印もあるため、迷うことはないでしょう。三十三番石仏から約20分で右に鉄塔があります。この辺りが久住砦のあった場所です。鉄塔の先に慈悲尾の増善寺への分岐①があり、その先で急に下った後、上り切って少し行くと安倍城跡です。城跡には、「芙蓉白雪放靈光」の碑と裏面に安倍城の歴史が記されている「安倍城跡」の碑が建っています。城跡からは左に富士山、正面には伊豆の山々まで見渡すことができますが、南北に細長く横たわった賤機山の姿が何より印象的です。

帰路は西ヶ谷・内牧方面に下りますが、洞慶院と安倍城跡を3〜4時間の往復コースで楽しむのも良いでしょう。

城跡から石塁跡である石段を下るとすぐに分岐②があり、右は増善寺の本堂裏へ通じる急な下り道です。増善寺との分岐を左、西ヶ谷・内牧方面に下ると15分程で、今度は西ヶ谷と内牧との分岐に出ます。西ヶ谷へは右へ山腹の急坂をジグザグに下り、総合運動場を正面に見ながら約20分で農道に出ます。西ヶ谷の集落を抜け、西ヶ谷総合運動場をぐるりと回り込むと中央ルートです。)

(増善寺⇨安倍城跡)

増善寺は今川氏親の菩提寺として有名なお寺。バス停(慈悲尾南)から徒歩約15分で着きます。増善寺⇨安倍城跡間にも二つのルートがあります。増善寺駐車場の向かいから尾根を巻いて久住砦付近の分岐①へと至る道と、増善寺の本堂裏と分岐②を結ぶ道。

駐車場の向かいから久住砦を経由して安倍城跡までは約75分。途中、鉄塔を幾つか越え、急な上りも何か所かありますので楽なルートではありません。下りは城跡から30分ほど下った途中、目印に従い左に曲がります。本堂裏まで急坂を約75分、滑りやすいので足元には十分気をつけましょう。

朝鮮岩〜満観峰

静鉄丸子営業所の少し先、長田西小の角を左折。芹ヶ谷大橋の手前をさらに左折し、川沿いの散歩道を行います。数分で右に井尻橋を渡り、井尻集落へ。集落を抜け、次第に細く急になる道を暫く上った先の分岐を朝鮮岩方向へ左折。暫く進み民家の手前を左、その先の水場を右へ曲がれば駿河国百地蔵尊の第九番目の小野寺に出ます。

寺の右横を進み、左へ急な上り道になります。鉄塔を過ぎ、10数分急坂を上って尾根に出ます。岩場を二箇所越え10数分、朝鮮岩直下の分岐を左へ急角度に曲がれば朝鮮岩です。朝鮮岩は六畳程の広さしかありませんが、眺望は素晴らしく、静岡市街や富士山と共に、歩いてきた丸子川沿いのルートが望めます。朝鮮岩で一息入れたら満観峰を目指しましょう。

朝鮮岩から満観峰までは、比較的緩やかな上り下りを約1時間30分〜2時間。歩き易い道ですが眺望が利く場所が少ないため、朝鮮岩と満観峰を半日コースで

別々に歩くのも良いと思います。(両コースともバス停から往復3〜4時間です。)

満観峰へは、朝鮮岩先の急坂を上った先の分岐を左へ下ります。数分でモノラックの集積場を越え、茶畑を右に見ながら進みます。集積場から45分位で丸子富士との分岐にでます。丸子富士はその名のとおり美しいシルエットの山ですが、上り下りは急で、山頂(四五〇m)からの眺望は全く利きません。

10分程の上りで山頂に着き、数分の下りで満観峰への道に合流しますが、左へ巻き道を行っても良いでしょう。合流点を過ぎ数分で茶畑の脇の指導標へ、左へ道を取れば小坂東登り口へ出ます。指導標から暫く進み、茶畑を過ぎて正面に杉の太木が見えたら満観峰山頂です。

山頂広場は北側の一部を除き、大パノラマが展開されています。また、展望園地としてテーブルやベンチが整備されており、お弁当を広げるには最適な場所です。

帰路は小坂方面へ。数分先の指導標を左折、そのす

ぐ先を右に取り、茶畑の中の下りの道を行くと10分程で農道の突き当たりに出ます(西登り口)。ここから

小坂バス停までは農道歩きで約1時間、10分程下った先の分岐を左へ。翡翠の滝、観光トイレを過ぎ、小坂の集落の中程に来れば、バス停のある小坂公民館前に着きます。

(逆川〜満観峰)

逆川口バス停から逆川に沿って山中へ約一・五キロ、30分で左に集落入口の橋を渡り、突き当たりの茶畑登り口に到着します。ここから満観峰までは約1時間。指導標に従い幾つかの分岐を越えていくと、30分で左に舟川からの道と合流します。右に15分で頂上直下の分岐を左へ、約10分で満観峰山頂です。

(小坂〜満観峰)

小坂の西登り口から満観峰を経て東登り口へと下るコース。公民館前バス停から小坂の集落を抜けて約20分で観光トイレに着きます。その先の分岐を右へ、農道を30分程上った分岐で右へ大きく曲がります。右に東登り口を見て農道の突き当たり(西登り口)まで行き、指導標に従ってみかん畑の中を上ります。30分程で茶畑の尾根に出たら右へ、10分で満観峰に到着です。帰路は丸子・朝鮮岩方向へ。10分程下った先の分岐を右、小坂方面へ下れば20分で東登り口に着き、約45分で公民館前バス停に戻ります。

(舟川〜満観峰)

二軒家バス停下車。少し先の碎石工場の看板を左へ入り、舟川沿いに進みます。(ダンパーの通行量が多いので注意)砂利の採取場や、牛舎を過ぎて暫く行った集落の中程で右へ曲がり、15分で農道突き当たりの登り口に着きます。ここから約30分で逆川からの道と合流します。

往路 バスのご案内

JR静岡駅から丸子小坂線小坂公民館前行…35分
 終点下車

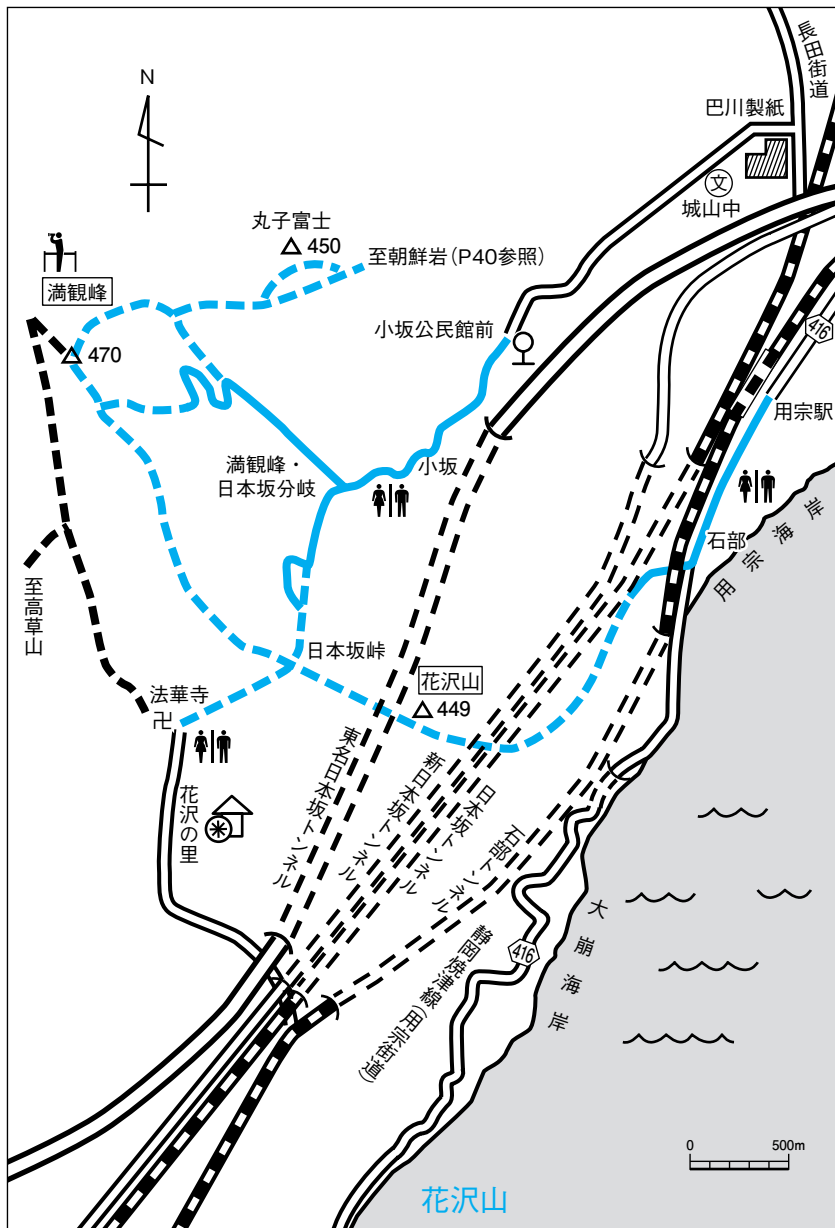
コースタイム

小坂公民館前…20分…日本坂・満観峰分岐…15分…
 日本坂登り口…10分…農道突き当たり…15分…日本
 坂峠…40分…花沢山…3分…野秋分岐…45分…石部
 農道…20分…国道…15分…用宗駅
 (花沢の里)

日本坂峠…25分…法華寺…5分…水車小屋・花沢集
 落…5分…法華寺…30分…日本坂峠

復路 乗物のご案内

JR用宗駅から東海道本線…8分…JR静岡駅



花沢の里

花沢山

静岡市の西外れ、焼津市境にある花沢山は大崩海岸を足元に置き、「航空灯台の山」として親しまれてきた山です。

案内板のある小坂公民館前バス停より左に流れる小さな川沿いを歩き、集落を抜けて約20分、観光トイレの先の分岐を左、日本坂方面に進みます。分岐から三〇m程上ると再び道が分かれていますので、そこを右へ。10分程歩くと右に「花沢山ハイキングコース」の案内板があり、さらに数分で左に日本坂への登り口があり、山中へと導いています。山中へは入らず、農道をそのまま行っても10分位で同じ農道の突き当たりに出ます。

ここから日本坂峠へは約15分。農道の突き当たりからコンクリートの階段を上り、茶畑を見ながら歩いて行くと指導標のある日本坂峠に出ます。日本坂峠は「古事記」にも出てくる古来からの峠で、日本武尊（やま

とたけるのみこと）が東征の折に通つたと言われる峠です。歴史ある峠の割にはさしたる広さもなく、寂しい感じがする峠です。峠からの眺望は利きませんが、杉林越しに市街地や富士山を望むことが出来ます。峠を右に取れば約1時間で満願峰、花沢山へは左へ道を取ります。

ここから山頂までは約40分。登り始めの15〜20分は急登で、両側が樹林の尾根道です。木の根が多いため、気を付けて進みましょう。

二つ程ピークを越え、笹をかき分けた先で富士山がきれいに見えたら、山頂はもうすぐです。緩やかな尾根道から一度下って再び上り切ればそこが花沢山山頂（四四九m）です。以前はかなり眺望が開けていたようですが、今では樹木が育つたためか、東西の眺望が利くだけです。それでも右（南西）は焼津、島田方面、左（北東）は林の間から富士山を真正面に望むことができます。

一息入れた後は帰路を右部に取ります。道なりに下ると程なく野秋分岐に出ます。（※右は野秋方面への

道ですが、野秋バス停は平成三年に廃止されましたので注意しましょう。）石部方面へは分岐を左に取り、

林間の下りの道を進みます。歩き易い道ですが、途中少し急な沢沿いの場所もあり、滑らないよう注意しましょう。10数分下ると右に海や港、大崩海岸を走る車などの風景が開けます。再び林の中に入り、数分の所にある分岐を左へ。下るにつれて左側には国道やJRの線路が見え隠れするようになります。やがて石垣の階段を何度か下り、みかん畑を通って農道に出ます。

ここから用宗駅までは約35分、富士山や新幹線を見ながら農道を下ります。10分程で左に案内板を過ぎ、暫く行くと車道に出ますのでそこを右折、一〇〇m程先の石部踏切を渡り、国道一五〇号に出ます。用宗駅へは左折し、15分程行った信号機の交差点を左へ曲がれば到着です。余力のある人は、一五〇号に出てから用宗方面に歩きながら、道を少し右に入れば用宗海岸に出ることが出来ます。夏には海水浴客で賑わう砂浜や堤防の上で寝ころび、山歩きで疲れた体を潮風にあてるのも気持ちが良いでしょう。

（日本坂峠〜花沢の里）

日本坂峠から指導標に従って林間の道をジグザグに15分程下ると農道に出ます。高草山山頂を仰ぎ見ながら、農道を横切り正面少し左に再び山中の道を下ります。少し行くと前方に法華寺の墓地が見えてきます。墓地の横を通って境内を散策したら、案内板のある法華寺入口まで出ましょう。花沢の集落は舗装道を左へ。休憩所を過ぎて五〇m位先の左側にアズキ色の建物の水車小屋が、その上に炭焼小屋があります。水車小屋は中に入ることもできません。

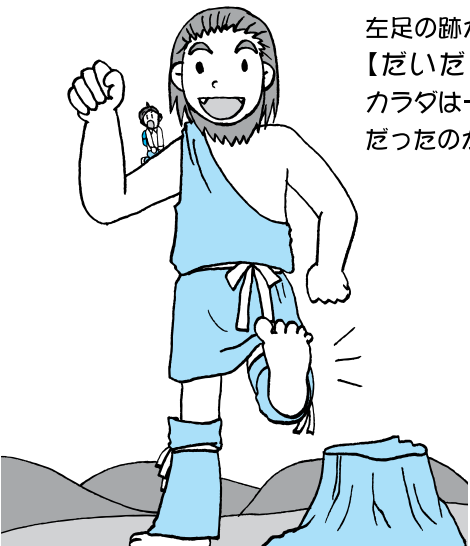
花沢の集落は沢沿いの小径。石垣や黒い板塀の旧家が並ぶ静かな里で、宇津の谷の集落とはまた違った趣があります。家並は割と短く、集落を過ぎた橋の辺りで終わってしまいます。このまま数分進むと分岐左側に公衆便所があり、右はやくつべの小道となります。帰路は法華寺入口から日本坂峠まで、今度は登りのジグザグ道、ゆっくり上って約30分で日本坂峠に到着です。

ファミリー及び一般の18コースから選んでみましたので、コースを選ぶ際の参考にして下さい。

☆山頂の広さベスト5

- ① だいらぼう 何と言っても『だいららぼっち』の左足。長さ一〇〇m以上の草むらは、断トツの第一位です。
- ② 牛ヶ峰（高山） だいらぼうの三分の一位の広さでしょうか。この広さも中々のものです。
- ③ 満観峰 展望園地としてきれいに整備されており、レリーフやあずまやが設置されています。
- ④ 帆掛山 満観峰と同じように、整備されています。
- ⑤ 竜爪山（文珠岳） 地元の人の手により山頂の樹木が伐採され、眺望は一段と良くなりました。

左足の跡が山頂になった、という【だいららぼっち】クンって、カラダは一体どのくらいの大きさだったのかしら？



☆富士山の眺めベスト5

静岡に住んでいて良かったと思うのは、富士山をいつも身近に眺められること。ほとんどのコースから富士山を眺められますが、特に素晴らしいポイントを挙げてみました。

- ① 穂積神社〜帆掛山 「あなたとわたしの富士見台」から雄大な富士山を眺めます。
- ② 竜爪山（穂積神社〜薬師岳間） あまり紹介されていませんが、すそ野を広げた富士山の姿は印象的です。
- ③ 牛ヶ峰（高山） 山頂 草原に座りながら富士山を見ることがができます。
- ④ 満観峰山頂 富士山、静岡市街地が一望できます。
- ⑤ 賤機山 鯨ヶ池方面から縦走途中、茶畑越しに振り返りましょう。

☆せせらぎを聴きながらのコースベスト3

- ① 安倍の大滝 街道から大滝まで、美しい渓谷が広がります。
- ② 竜爪山（旧道） 新道より時間はかかりますが、「竜爪の滝」等の見どころが多いコースです。
- ③ 釜石峠〜突先山 比較的緩やかな道が続く山腹コースを歩き、山頂を目指します。

☆山頂の高さベスト10

- ① 真富士山（一、三四三三m）
- ② 竜爪山（一、〇五一m）
- ③ 突先山（一、〇二二m）
- ④ 大山（九八六m）
- ⑤ 牛ヶ峰（七一六m）
- ⑥ だいららぼう（五六一m）
- ⑦ 満観峰（四七〇m）
- ⑧ 花沢山（四四九m）
- ⑨ 安倍城跡（四三五m）
- ⑩ 日本平（三〇八m）

遠足等で市民に最も親しまれている山と言えは、薬師・文珠の双峰をもつ竜爪山です。竜爪山線のバスに乗り、平山バス停で下車。則沢との分岐を左に見ながら平山の集落へと進みます。10分程で正面に公衆トイレとコース案内板がある場所に着き、さらに左に沢を見ながら約30分で三本桜と呼ばれる染井吉野桜が1本残る場所に到着。茶屋の裏手を進みここから林道を10数分上ると鳥居が見えます。ここが旧道登り口、さらに数分で新道登り口に着きます。

(新) 道

道幅が広く非常に歩き易い道です。「竜爪山登山道入口」を目印に、脇のコンクリート製の階段を登り、林の中を歩きます。丸太の橋を何箇所か越え、登り口から約40分で水場、そこから20分で穂積神社に到着する一般的なルートです。(途中で旧道と合流します。)

新道に比べて道幅が細く急なため、穂積神社までの時間は新道の一・五倍、1時間30分位かかります。神社までの間には三十四個の丁石があり、途中には小さな滝など見どころも多く、新道とは異った趣がある道です。

鳥居から旧道コースが始まります。鳥居をくぐり山中へ、堰堤や鉄の橋を越えると左に三丁目の滝があり、道を数分下ると小さな滝に出ます。道を戻り10分で竜爪の滝へ。滝は道から覗き見るだけですが、この辺りは山と岩が急峻なため、沢は岩の間を細く縫うように流れています。この後十丁目の先でトラロープを張った急な上りになり、岩場をジグザグに上り、十七丁目のすぐ先で左に風景が開けます。前方左から文珠、薬師、その右には穂積神社からの杉林が見えます。十九丁目の先で急坂を越えると緩やかな上り下りの道になり、二十六丁目で新道に合流します。新道合流点から穂積神社までは、道なりに約15分程です。

(穂積神社・薬師、文珠岳・則沢)

神社の社殿の横から御神木である杉の太木の間を抜けて薬師岳へ向かいます。神社・薬師間は急傾斜であるため、ゆっくり登りましょう。旧社殿跡の先から鉄パイプの手すりが付いた険しい鉄階段となり、山頂へと続きます。途中、富士山の眺望が素晴らしい場所が二カ所あり、すそ野を広げた雄大な富士山の姿を望むことができます。丸太のベンチで一息入れましょう。階段状の道を休み休み歩くこと約20分、上り切った場所が俵峰との分岐です。俵峰へは右へ、薬師岳は左へ薄暗い林間の道を2〜3分で到着です。杉の植林地で展望は利きませんが、静かな山頂でテーブルとベンチが置いてあります。薬師からは下って登り約15分で文珠岳に到着。山頂からは静岡市街地、駿河湾から三保半島・伊豆の山々の展望が楽しめます。

文珠岳から則沢・牛妻方面へは、市街地の眺めを見ながら東海自然歩道の指導標に従って下ります。牛妻への道は東海自然歩道にも指定されていますので良く整備されており、若山を経由して約2時間で曙橋までの牛妻坂下バス停に着きますが、本書では則沢への

道を紹介しします。(穂積神社・則沢分岐間は東海自然歩道)

頂上から階段状の道を10分程下ると分岐があり、則沢へは東海自然歩道から左へそれて林間の道を下ります。30分程下ると分岐①があり、林道コースは左へ橋を渡り林道の突き当たりに出たら、林道を下ります。途中、道白堂には市の天然記念物の大イチョウがありました。平成五年九月の台風により倒れてしまい、今では株を残すだけになってしまいました。道白堂を過ぎ、50分程下れば山道コースと合流する堰堤に着き、さらに20分で則沢のバス停に到着です。

一方、山道コースは分岐①から右へ、こちらも橋を渡ってすぐ左に下ります。沢沿いの石垣の道を下っていきます。途中には足元が悪い道もありますが、危険箇所にはロープが張られているため、注意しながら慎重に進みましょう。分岐①から堰堤までは約50分、ロープを伝って渡り、橋や茶畑を幾つか過ぎて茶畑から堰堤を下れば林道に出ます。こちらのコースは危険箇所があるため、林道コースがおすすすめです。

市街地から静岡市北部にわたって約七キロ細長く横たわる山が賤機山。最も高い所でも二三一mと標高は低い山ですが、尾根沿いの登山道から見ると東西の風景は素晴らしい、市街地にある手軽な山として親しまれています。本書では市街地が徐々に近づく鯨ヶ池から浅間神社へのコースを紹介いたします。

鯨ヶ池老人福祉センターから道路へ出て左へ二〇m程行った角を左折、突き当たりをさらに左折し、池に沿って進みます。鯨ヶ池からの登り口は二箇所あり、池から離れて少し行った右側に一つ目の登り口が、そこから五〇m程奥へ行った左側に二つ目の登り口があります。近くには公衆便所もあり、どちらを行っても福成神社の手前で合流しますが、比較的緩やかな二つ目の登り口からの道を紹介いたします。

茶畑の先に見える階段を上って山中へ入り約10分、階段が終わった先の分岐を右へ取りまします。(左は桜峠へと続きます) 左に羽高団地を眺め、テレビの中継

緩やかな上り下りの後、最初の農道に出ます。浅間神社方面へは農道を右へ少し進み、右にモノラック沿いのコンクリートの階段を上ります。茶畑の両側に広がる風景を見ながら、やがて二つ目の貯水槽を越え、三番目の鉄塔の横を通って再び農道に出ます。ベンチが設けられた展望休憩所でお弁当を広げるのもよいでしょう。道を右に取り、暫く行った左の壁面に標識があり、階段を上って再度山中へと入ります。ここから先はすべて山道。尾根に出たら薄暗い道を進み、15分程の分岐を右へ階段状の道を下ります。分岐から10分位で左に光明地蔵に着きます。ここから浅間神社山頂まではあと40〜50分、もうひと頑張りです。

光明地蔵から10分位でテレビの中継塔に到着。ベンチでひと休みして富士山を眺めるのも良いでしょう。中継塔のすぐ先には今川氏が築いた賤機山城跡があり、城跡のすぐ先からは、狩野氏の築いた安倍城跡が眺められます。この頃の歴史を学びながら二つの山城跡を訪ねれば、一層興味深いものになるでしょう。

城跡から数分、ロープを張った急な道を下った場所

塔を過ぎた先の分岐を右へ取り、道なりに30分程で一つ目の登り口との合流点に出ます。左の浅間神社方面へ、右に安倍川の流れを見ながら上れば程なく福成神社に到着です。石鳥居の辺りからは安倍川越しの眺望が開けており、安倍城跡の袂、西ヶ谷には県立水泳場のドームが見えています。この先、歩行程と共に近づき、やがて山の端に隠れてしまうこのドームの移り変わりに注目しながら歩いてみるのも面白いでしょう。

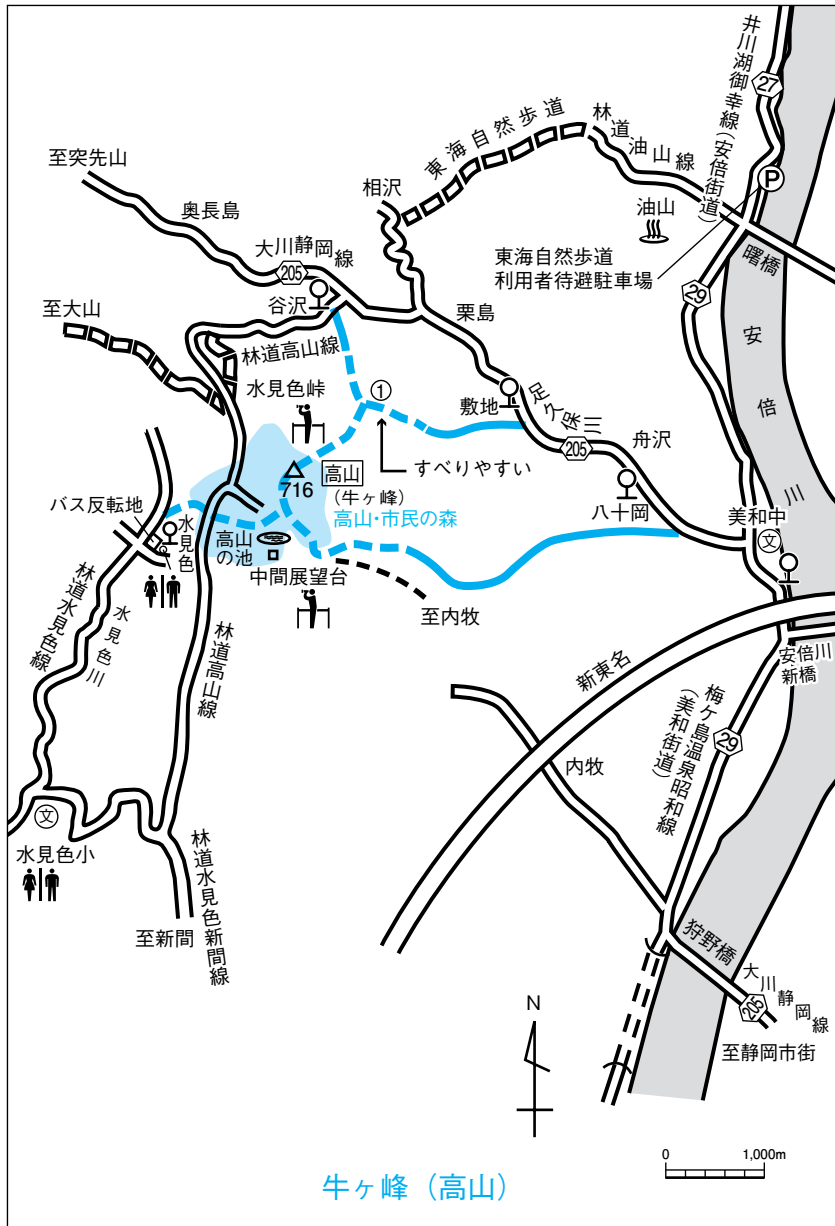
神社から10数分緩やかな道を行くと、左側茶畑越しに日本平方面の眺望が良い下りの道に出ます。下り切って暫く進んだ先の分岐を右へ、作業小屋を過ぎ、ロープを張った少し険しい道を越えます。気を付けて上った後は、左右に時折広がる風景を楽しみながら進むと約20分で貯水タンクに着きます。ここからの風景は賤機山縦走の中でも一、二のもので、貯水槽の上に立つと行く先に延びる賤機山の両側に素晴らしい風景が広がっています。

一息入れたら貯水タンクを後に、茶畑の中の道を行います。左に麻機遊水池を眺め、鉄塔を二つ越えます。

が通称「地獄谷」、危険ですので谷の両側へは下れません。谷を上った後は緩やかな上り下りの道を15分程進み、左に城北公園を見ながら山道を上り切れば浅間山山頂です。

山頂には救世観音が祭られており、少し下った場所からは左側に市街地や富士山の眺望が素晴らしい、眼下には城北公園の花時計やテニスを楽しむ人が眺められます。山頂から約15分で朱塗りの麓山神社に到着、百段を下って神社まで降りたら右へ、赤鳥居をくぐって横断歩道を渡った左にバス停があり、程なく市街に着きます。余力のある人は、浅間通り商店街を歩いて行けば30分程で新静岡セノバに着きます。途中、商店街の中心には、江戸時代初期にシヤム(現在のタイ)で活躍した山田長政の屋敷跡があります。通り沿いに資料も飾られていますので、立ち寄ってみるのも良いでしょう。

※ コース途中から農道を下って街道に出ることもできます。



牛ヶ峰 (高山)

14 牛ヶ峰 (高山)



往路 バスのご案内

・JR静岡駅から美和大谷線奥長島行：45分：終点下車
50分：谷沢下車

コースタイム

(谷沢～牛ヶ峰～八十岡)
 谷沢：5分：大山分岐：10分：山中へ：35分：作業小屋：15分：敷地との合流点：40分：牛ヶ峰：3分
 ・分岐：15分：高山の池分岐：5分：高山の池：5分：分岐戻り：20分：内牧分岐：15分：不動の滝分岐：15分：農道：65分：八十岡バス停
 (水見色～牛ヶ峰)
 水見色：10分：道路沿登り口：10分：山中へ：25分

復路 バスのご案内

・作業小屋：20分：高山の池：25分：牛ヶ峰(敷地～牛ヶ峰)
 敷地：20分：登り口：30分：茶畑分岐：30分：谷沢との合流点

八十岡バス停から美和大谷線：40分：JR静岡駅前



牛ヶ峰山頂

牛ヶ峰（高山）は、「高山・市民の森」として、より親しみやすい森林空間に整備されました。

牛ヶ峰への登り口は、美和線の八十岡、敷地、谷沢、薬科線の水見色があります。代表的なコースを紹介しますので、時間や体力に合わせてコースを選んで下さい。

〔谷沢～牛ヶ峰〕

谷沢バス停を少し戻り、東海自然歩道の看板を右へ、二〇〇m先の分岐を左へ曲がります。この先では今後、農道工事が予定されていますので注意して下さい。農道から山中へ入り約10分。広い茶畑の脇をモノラックに沿って上り、杉林の中を進みます。幾つかの分岐を過ぎ、暫く行くと右に作業小屋があります。ここから敷地との合流点までは約15分の少きつい杉林の上り道。道が緩やかになり、前方に再び作業小屋が見えたらそこが敷地との合流点①です。

すぐ先の分岐を左へ、雑木林の中の細い道を上り、荒れた茶畑の中の道を進みます。やがて左に作業小屋を見て、少し急な道を上ると今度は右に作業小屋があ

ります。ここから山頂までは約10分。緩やかな上り道の先に前方が開けたら牛ヶ峰の山頂です。

山頂はカヤトの原が広がり、かなりの広さがあります。山頂からの風景は山が幾重にも重なり、富士山も望めます。後ろを振り返れば、無線中継塔を乗せた大山、その右に突った山頂の突先山等冬枯れの時期であれば、ほぼ三六〇度に近いパノラマが展開されます。

山頂の風景を楽しんだら帰路は八十岡へ。八十岡へは頂上から南西方向、道なりに下った先の指導標を左折、植林帯の中をジグザグに下ります。木々のテープを頼りに下ると約15分で高山の池との分岐に出ます。右へ数分行くと植林帯の中に一区画だけ、今でも少し水が残っている湿地帯があります。そこが高山の池です。しんと静まり返った林の中になると伝説の竜が出てくるような気がします。池の淵には説明板も立っています。

分岐まで戻り、大岩を越えて行くと約20分で内牧との分岐に出ます。薄暗い左の植林帯の中へ、杉の高木の中のやや急な下り道を行います。内牧分岐より15分程下ると左に不動の滝の分岐に出ます。不動の滝は水

量の少ない滝。左へ数分で着きますが、滝までの道は荒れていますので寄る場合は注意しましょう。

分岐からは沢沿いに下り、数分で沢を横切り堰堤を下ります。暫く行くと二つ目の堰堤があり、下った先で林道に出ます。ここから八十岡バス停までは約1時間間の長い林道歩きの道。40分位で八十岡の集落へ入り、左に八十岡公民館を過ぎれば八十岡橋も間近です。平成六年三月に完成した八十岡橋を渡り、道路を左へ三〇m程行けば八十岡バス停です。

※ 道がかなり荒れているので注意して歩きましょう。

〔敷地～牛ヶ峰～八十岡〕

敷地バス停で下車。道路を三〇〇m程戻り「牛ヶ峰荘」の看板に従って右へ。道なりに約20分歩くと右に登り口があります。沢を越え山腹の道をジグザグに上ると約30分で、左に茶畑が広がる場所に出ます。茶畑沿いの左の道を行き、作業小屋の手前を左折、植林帯の中の良く踏まれた道を進み、登山口から約1時間右に谷沢からの道と合流します①。

〔水見色～牛ヶ峰〕

水見色は清流沿いの里。牛ヶ峰へは水見色バス停から10分歩き、道路右側の指導標から入ります。

少し先の分岐を左へ、茶畑の中を進み農道に出たら少し先を左へ山中に入ります。茶畑から林間の上り道へ、幾つかの分岐がありますが、指導標に従って進むと作業小屋が見えます。小屋の手前を右へ曲がりますが、ここから先は数ヶ所建設中の林道を横切りますので、注意して進んで下さい。林間の上り道を暫く行くと道は緩やかになり、少し下った先、林間の広場に水芭蕉が群落する高山の池があります。池から5分ほど上がった所にある中間展望台のベンチでひと息入れるのもよいですね。ここから牛ヶ峰までは約25分の林間の上り道。

上り切って緩やかになった先、林の出口に幾つかの指導標があります。そこから少し下った先に広がる広場が牛ヶ峰山頂です。

※ 林道の工事により、コース状況が変わる可能性があります。

15 大山



往路 バスのご案内

JR静岡駅から美和大谷線奥長島行：50分：谷沢下車
 JR静岡駅から美和大谷線奥長島行：50分：谷沢下車

コースタイム

谷沢：5分：牛ヶ峰分岐：40分：山中への登り口：35分：水見色峠：40分：口長島分岐：40分：階段先のテーブル：20分：大山

(天山～東海自然歩道～寺島)

大山：10分：林道分岐：60分：一色：50分：寺島バス停

(天山～愛郷の道～大原・八幡神社)

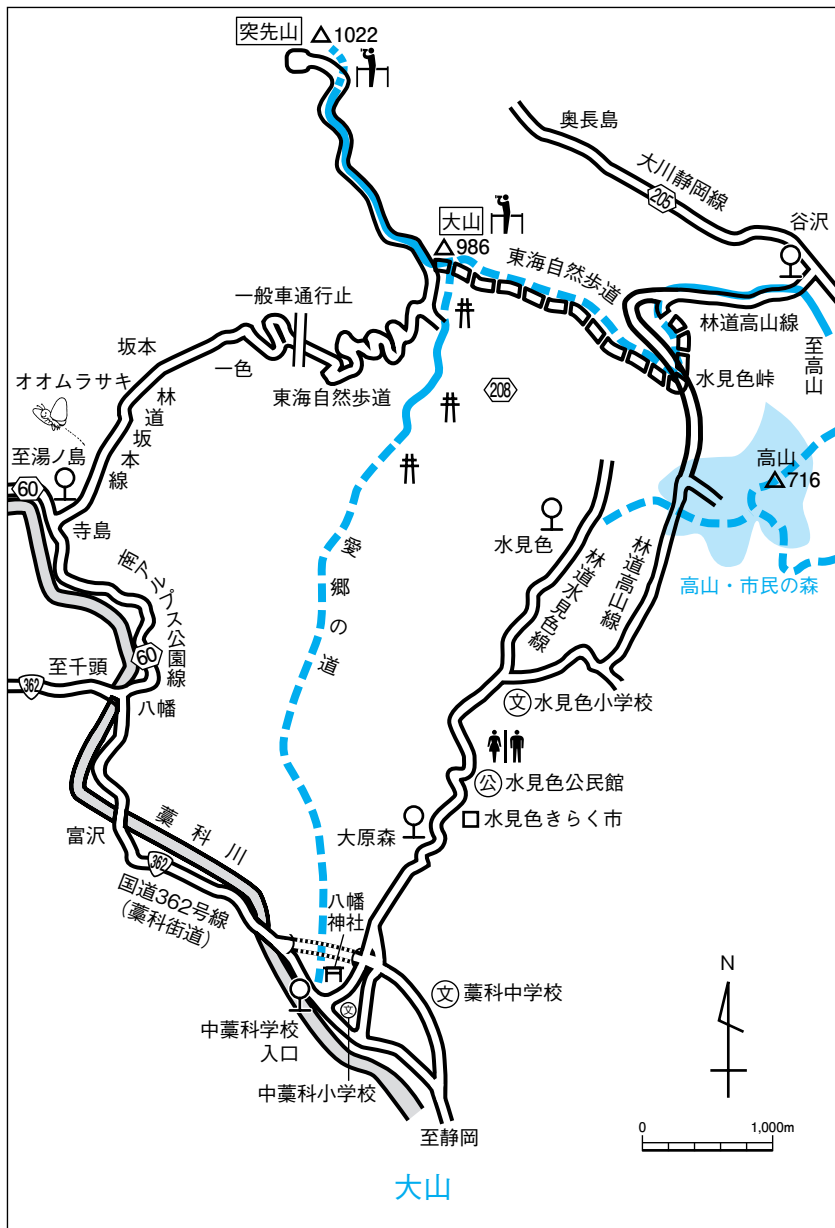
大山：15分：作業道：25分：三番目の鉄塔：35分：植林帯：50分：鉄塔：5分：分岐：35分：展望台：10分：茶畑分岐：10分：八幡神社：5分：中薬科学校入口

復路 バスのご案内

・寺島から薬科線：55分：JR静岡駅前
 ・中薬科学校入口から薬科線：35分：JR静岡駅前



大山山頂



無線中継塔を乗せた山として親しまれている大山へは、谷沢バス停から道路を五〇m程戻った右側、大山ハイキングコースの案内板から入ります。

沢沿いの道を二〇〇m程行った先の牛ヶ峰との分岐を右へ林道を進みます。30分程歩くと右側に東海自然歩道の案内板があり、その先三〇〇m程行った先の指導標から山中へと入ります。右側のコースを進み、尾根に出てからは植林帯の中を緩やかに上って行きます。やがて前方が開けたら水見色峠に到着です。

※ 水見色峠は現在、林道開通工事をしているため、コース状況が変わる場合があります。

峠には木製のベンチが置かれており、眺望は利きませんが一息入れるには良い場所です。峠を指導標に従って右へ。ここから大山山頂までは、途中休憩しながら約1時間30分〜40分。峠から暫くは比較的緩やかな上り下りが続きますが、道は次第に急になります。峠から約40分、急斜面を上り切った所に口長島との分

岐があります。この少し先から道は急になり、植林帯の中を山頂目指して喘ぎながら上って行きます。登山道はあまりはつきりしていませんが、左右へ巻く道を取ることはなく、木に巻かれたテープを頼りに真っ直ぐに進めばまず迷うことはありません。急坂を上り切ると黒いベンチがお出迎えです。無線中継所まではあと20分、もうひと頑張りです。

道を右へ取り、笹をかき分けながら進みます。やがて植林帯が終わり、両側に笹が繁った細い急坂を上り切ると無線中継所に到着です。上り切った右手には富士山が、左へ回った場所からは安倍川河口を正面に、安倍や藁科の山々が幾重にも連なる雄大な風景が広がります。大山山頂からは、作業道が突先山や東海自然歩道の坂本方面へ延びています。無線中継塔から二〇〇m程舗装道を下ると右に突先山への道を分けま

（東海自然歩道、坂本、寺島方面へ）

無線中継塔から延びる作業道を道なりに下ります。つづら折りの道を延々と下ること約四キロ、1時間10分で管理のゲートに着きます。山頂からここまでの区間はN.T.Tの管理道のため、通常は施錠されていて一般車は通行できません。ゲートの先、約三キロ、一色の集落を過ぎ、オオムラサキの舞う坂本の里を過ぎて県道に出れば寺島のバス停です。

（大原、八幡神社方面へ「愛郷の道」）

無線中継塔から南に延びる二番目、三番目の鉄塔を越えながら、中藁科小学校近くの大原八幡神社まで下る長い縦走路。この道は藁科中学校が「愛郷の道」として、毎年遠足で親しんでいる道。生徒会が作った指導標が数多く立てられています。大山山頂から大原八幡神社までは、約3時間〜3時間30分です。

無線中継塔から二、三番目の鉄塔が見える方向に下ります。笹の間の道を15分程下ると作業道に出ますので左へ、二番目の鉄塔の少し手前を右へ15分位で三番

目の鉄塔へ着きます。突き当たりを看板に従って右へ下り、すぐ先の鉄塔の手前を左へ、長い林間の下り道の始まりです。この先八幡神社まで、途中、幾つかの分岐がありますが、大原や八幡方面の指導標に従って進みます。途中、急な下りも何箇所ありますので足元には注意して進みましょう。三番目の鉄塔から約30分で尾根の植林帯を過ぎ、そこから約50分で再び鉄塔に出ます。鉄塔の先数分の分岐を右へ取りま

す。道なりに進むと直進してしまいますので注意が必要です。やがて左に展望台を過ぎ、10分程で茶畑に出たら左へ。五〇m程進んだ先をさらに左。茶畑から離れ、林間を下り、トラロープを張った急な道を下ると大原八幡神社に到着です。参道を下って道路へ出たらバス停へは右へ、中藁科小の前を通り、街道へ出れば左側に中藁科学校前のバス停があり、JR静岡駅方面へのバスが出ています。

16 釜石峠～突先山



往路 バスのご案内

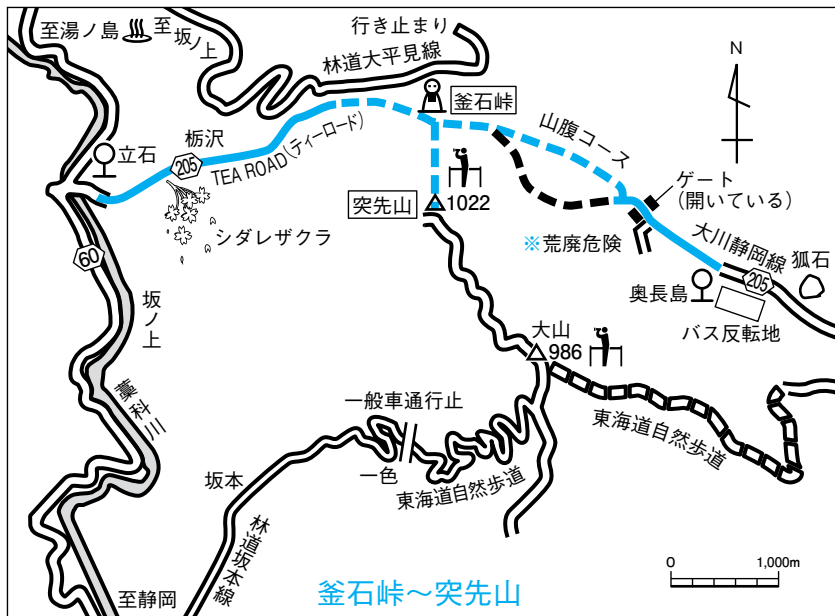
車 JR静岡駅前から美和大谷線奥長島行…55分…終点下

コースタイム

奥長島…35分…メガネ橋…5分…山腹コース登り口
 …65分…突先山分岐…30分…突先山…25分…突先山
 分岐…3分…釜石峠…25分…ワサビ田…20分…栃沢
 農道…20分…シダレザクラ・聖一国師の碑…30分…
 立石バス停

復路 バスのご案内

立石から藁科線…70分…JR静岡駅前



※ 見どころ

- ・ 栃沢のシダレザクラ
- ・ 茶祖、聖一国師の碑



山腹コース登山口付近 (指導標を右へ)

ちのちのたのしみ

このコースはお茶をひろめた藁科川栃沢生まれ、安倍川蔵野医王山回春院で没した聖一国師の人生を結ぶティーロードです。

聖一国師

鎌倉時代初期、みどりの道梶原山付近で討たれた梶原景時、景季親子、その二年後、景季の宇治川の先陣争いで有名な名馬磨墨の厩の栃沢に生まれた聖一国師は宋に学び、帰国後博多にて寺を開山。当時流行った疫病を鎮めるために清めの水を町中にまいたのが「博多祇園山笠」の山車の引き回しの勢い水の始まりだとされ、近年静岡市より福岡市に栃沢の水が贈られている。宋から持ち帰った茶をひろめたことから本山茶の始祖とも称されている。



釜石峠と突先山

葦科奥の大川地区と安倍の足久保を結ぶ峠として、昔から人々に親しまれてきた釜石峠。近年、ティールード（お茶の道）として大川地区の人々により指導標識や丸太の階段等が整備されています。

奥長島側からは沢コースと山腹コースがあります。沢コースは危険な箇所もありますのでみどりの道から外れています。美和線の終点奥長島でバスを下車、左に沢音を聞きながら舗装道を山中へと進みます。バス停から約二キロ、35分で林道が左にカーブしたメガネのように見える橋に出ますが、登山道は直進します。ゲートから三〇〇m程先の畑の中の指導標を右折し民家の茶畑を通り、山腹コースへ入ります。

民家の茶畑を右に過ぎた後は川沿いにややきつめの勾配を登ります。しばらくすると薄暗い植林帯に入り、やや登ります。朽ちたベンチの先を左手にとり、再びゆるやかな勾配のコースを進みます。途中、コース幅の狭い箇所には注意して進み、少し下った沢を渡ると

沢コースとの合流点に到着します。（※危険なので、沢コースには入らないでください。）緩やかな道を行くと約10分で植林帯は終わり、小さな沢を渡って雑木林に入ります。少し先の分岐を左へ下り、暫く行くと突先山との分岐に到着します。

釜石峠はこの先五〇m程下った場所。うす暗い林間の峠で眺望は全く利きませんが、しんと静まり返った峠には「菌痛さま」と呼ばれる如意輪観音が頬に手を当てて穏やかな表情をしています。観音様には「是より右美和村あしくぼ、左玉川村たくみ」の文字が掘られています。直進は栃沢への道ですが、まずは分岐まで戻って突先山を目指しましょう。

突先山へはここから約30分、分岐から暫くは林間の緩やかな道。木に巻かれたテープを頼りに約10分で丸太の階段下に出ます。ここからピークを二つ程越えた先が目指す突先山。かなりの急登です。焦らずゆつくりと進みましょう。約20分、途中、左に風景が開けた場所を過ぎて最後の少し長い階段を上り切れば突先山山頂です。

山頂はそれほど広くありませんが、真富士山越しの富士山は素晴らしい眺めです。正面は、足久保川を眼下に伊豆半島まで見渡すことができ、少し覗き込めば大山の鉄塔も近くに見えています。山頂には腰掛け用の丸太やティールード整備記念の看板が立っており、大山方面への道も案内しています。

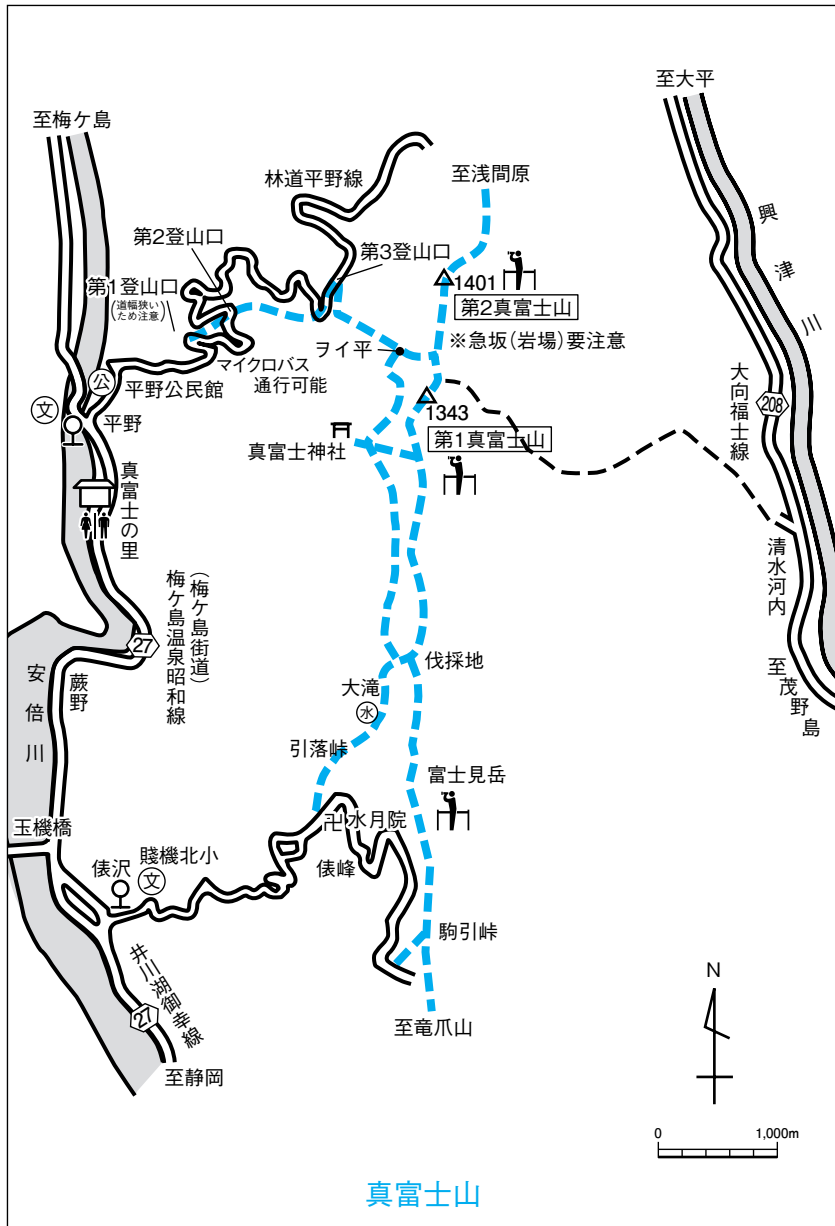
帰路は突先山山頂から約25分で釜石峠に戻り、栃沢への道を下ります。ここから栃沢の農道までは約45分、導標に従って下りましょう。やがて尾根の両側に沢の音を聞きながら左の沢に取りつきます。丸太橋を渡って右へ左岸を歩き、ワサビ田を越えた先で再び沢を渡ります。沢沿いに林間の道を下り10分程で三たび沢を渡ります。茶畑の先で丸太橋を渡り、道を五〇m程下れば農道に出ます。

ここから県道沿いの立石バス停まで約三キロ。途中、わが国にお茶を広めた聖一国師生誕の碑や名馬磨墨の既跡の碑等に立ち寄りながら1時間程の道のりです。

農道を左へ取り道なりに15分程で栃沢の集落に出ます。集落の中の分岐を右へ、大きなカヤの木の下を抜

けると正面に有名なしだれ桜が見えます。しだれ桜が良く見える道路上から茶畑を見下ろすと茶畑の中に石碑が見えます。それが聖一国師生誕の碑です。石碑へは道を少し下って左に入ります。石碑の手前の民家の門前にもう一つ小さな石碑があり、これが宇治川の合戦で活躍した名馬磨墨の既の跡の碑です。現在でも足久保から栃沢にかけては馬蹄石と呼ばれる比重の重い石が産出するようです。

道路に戻り下ると、右に子安神社、ティールードを紹介する大きな看板を過ぎたらもう一頑張り。山際の道から直線の道と下った先でガードレールへ突き当たったら左折し、県道に出ます。県道を右へ五〇m程行くと立石バス停があります。



17 真富士山

往路 バスのご案内 ※ 復路も同路線

JR静岡駅から安倍線梅ヶ島温泉行又は有東木行：
65分：平野下車
又は：50分：俵沢下車

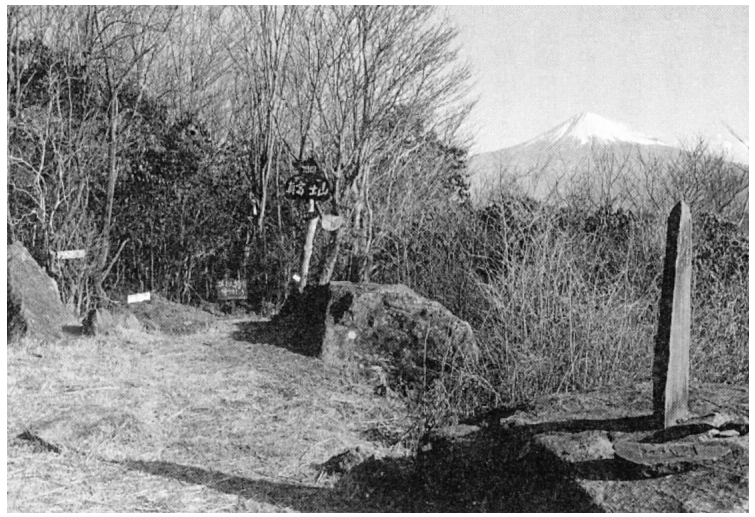
コースタイム

(平野コース)

平野：30分：第一登山口：30分：第二登山口：60分
：第三登山口：50分：ライ平：40分：真富士山・俵
峰分岐：15分：第一真富士山：10分：河内分岐：35
分：第二真富士山：180分：平野

(俵峰コース)

俵沢60分：竜爪分岐：20分：茶畑登山口：30分：引
落峠：30分：大滝：15分：尾根の伐採地：80分：真
富士山・平野分岐：180分：俵沢



第一真富士山 山頂からの富士山

(平野〜真富士山)

竜爪山の北に位置する真富士山は、石仏に導かれる山として古くから市民に親しまれている山です。

平野バス停で下車、少し戻って飲食店の看板を左折、又は平野橋袂の「真富士山登山口」から入ります。

舗装道を暫く行くと道は林道となり、約30分(約二キロ)で第一登山口に出ます。ここからは山道を行っても林道を行っても約30分、鎌沢橋を渡った右に第二登山口があり、(山道を行った場合は林道を少し戻ります。)さらに約1時間で旧第三登山口(二〇番)に出ます。第三登山口は林道を更に約三〇〇m行った右手にあります。ここからは植林帯の中を行きますが、かつての伐採地だったところに幼木が植えられ大きくなっているため、昼でも暗い植林帯になっています。植林帯の中の道を、木に巻かれたテープを頼りにジグザグに進みながら高度を稼いで行きます。やがてトラロープを張った少し急な上りの道となり、うす暗い植林帯を暫く進むとライ平分岐に出ます。左は第二真富

士山への直登の道、第一真富士山へは右へ道を取りま

す。ここから真富士山・俵峰分岐までは約40分、雑木林の中をジグザグに上ります。途中、振り返ると樹木越しに南アルプスの山々を望むことができます。やがて道は緩やかになり、左にロープを張った場所を越えると真富士山・俵峰分岐に出ます。ここは十字路になっており、右に五〇m程行くと真富士神社、正面は俵峰、左が真富士山への道となります。ここから山頂へは約15分、緩やかな登りの道を一投足で第一真富士山山頂(一、三四三m)です。

西側(左)の風景は望めませんが、富士山や駿河湾の眺めは素晴らしく、眼下に深い山々の間を縫って流れる興津川が印象的です。山頂にある開山記念碑には、「昭和六年に有志が協力して開山した」と刻まれています。

一息入れたら第二真富士山を目指しましょう。ここから第二真富士山へは、岩場を登る約40分の急坂の道。ロープは張ってありますが危険な道ですので、山歩き

に馴れていない方は控えた方が良いでしょう。山頂からは下りの緩やかな道を進みます。清水河内との分岐、ライ平分岐と過ぎ、急な下りで鞍部に出たらその先がロープを張った急坂になります。慎重に上りましょう。上り切って再び鞍部に出た先の上りは左へトラロープの岩伝いの道となります。三十二番石仏を過ぎ、ロープを伝って最後の登りを上り切り、緩やかな道を数分歩くと第二真富士山山頂です。山頂からは浅間原への道が続いています。

(俵峰〜真富士山)

俵沢バス停で下車、元農協俵沢支店の角を左折します。ここから登山口までは約四キロの舗装道歩き。約1時間で竜爪との分岐に出ますので左キャンプ場方向に進み、石碑左側の道を直進、小さな橋を二つ渡って右へ曲がると右に水月院があります。登山口は、水月院駐車場の先の分岐を左へ一〇〇m程行った左側にあります。

登山口から約30分で引落峠に到着。日中でも薄暗く、眺望は全く利きません。峠を右へ15分程先の分岐は後に合流しますので、どちらを行っても良いでしょう。合流地点から少し行くと大滝に出ます。高さ約二〇m、岩場を流れ落ちる滝で、冬には結氷する時もあります。丸太橋を渡るとすぐに大滝の頭に出ます。大滝の頭から約15分で尾根の伐採地に出ます。平野コースと同様、荒涼とした風景が広がっています。伐採地の中の道は分かりにくいので注意して進みましょう。伐採地から植林帯に入り、山腹の緩やかな道を進みます。途中、左側樹木越しに南アルプスを望み、岩場を越えて数分行った先の分岐を右へ、薄暗い林間の急坂を上り、15分程で道は緩やかになり、雑木をかき分けて行くと平野からの道と合流します。

18 穂積神社～帆掛山



往路 バスのご案内

新静岡・JR静岡駅前から竜爪山線則沢行き：45分：
平山下車

コースタイム

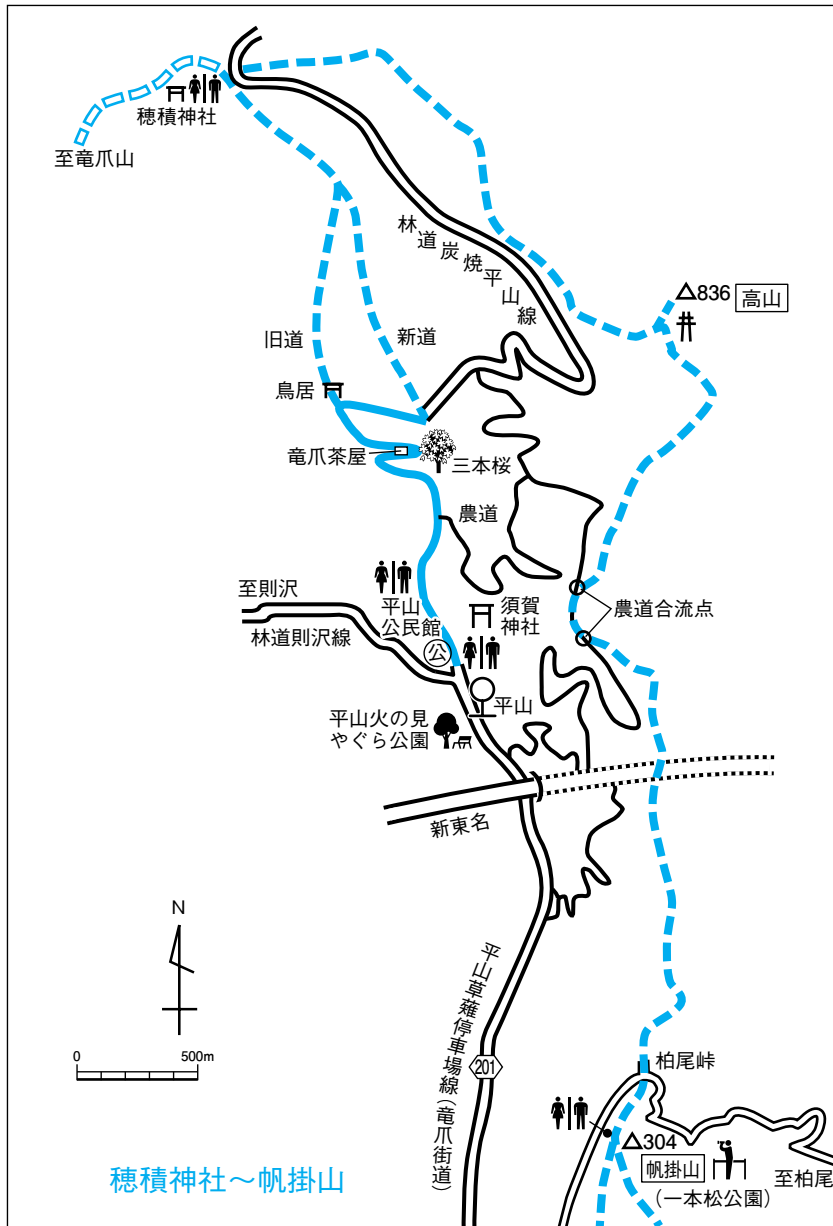
穂積神社までは、P 49～52 竜爪山コースを参照
穂積神社：80分：高山：60分：農道分岐：45分：柏
尾峠30分：帆掛山
帆掛山からは、P 23～26 梶原山～帆掛山コースを参
照

復路 バスのご案内

前
大内観音入口バス停から北街道線：30分：JR静岡駅



高山・帆掛山登山口



〔穂積神社と帆掛山〕

穂積神社と帆掛山は、平山のバス停から約6時間かかる長丁場のコースです。途中で平山、長尾へ下りる農道があるので、大変な時は無理をせず早めに下りましょう。穂積神社までは、P 49と52竜爪山コースを参照して下さい。

穂積神社前の林道を隔てて「高山・帆掛山登山口」の看板が見えます。尾根沿いに登って行くと、「高山、吉原」、「八八八・八」の分岐があり、南の「高山」方面に向かいます。さらに進むと東側に景色の開けている場所があります。晴れた日には素晴らしい富士山が望めるでしょう。そこから少し緩やかな上りが続きます。しばらくして、左右に分岐があります。どちらを進んでも行けますが、左に進むと高山の山頂に着きません。しばらくすると、三角点標石が置かれた高山山頂に着きます。そこから南へ下り、送電鉄塔のある急坂を下り、再び稜線上の道に合流します。しばらく緩やかな上りが続き、2と3分進むと高山の南峰に着き

ます。道標に従い、南西方向に進むとしばらく急な下りが続くので、足元に注意して進みましょう。40分程進むと、茶畑が西側に見えます。さらに進み、「柏尾峠」の分岐を右に行き、茶畑の中を農道に向かって進みます。この農道からの景色は素晴らしく、南方向に市街地と駿河湾が一望でき、天気の良いときには、東方向に富士山も一望できるでしょう。農道を南に5分程進むと、左に「柏尾峠一本松公園」の入口があり、再び山道になります。

入口から進むと茶畑があり、踏み均された道を進んでいきます。茶畑南端のモノラック横から稜線西側にはずれ、緩やかに下りながら進んでいきます。三七〇m峰、荒れた茶畑を通り、三七〇・七m三角点峰を通り、稜線に戻ると間もなく柏尾峠に着きます。稜線にも道がありますが、農道もあるので南下します。送電鉄塔手前の鞍部から稜線の道に戻り、茶畑の中を登ります。やがてコンクリート擬木で造られた階段が現れ、一本松公園（帆掛山）まで続きます。この階段は長時間登ってきた足には、かなりきついでしょう。し

ばらくすると一本松公園（帆掛山）に着きます。公園は整備され、テーブル、ベンチも置かれ、景色もいいでしょう。

帆掛山からは、P 23と26梶原山と帆掛山コースを参照して下さい。

※ 車で出掛ける時は、穂積神社又は帆掛山へ車を停め、高山まで歩いて復路同路線で戻るのも良い。

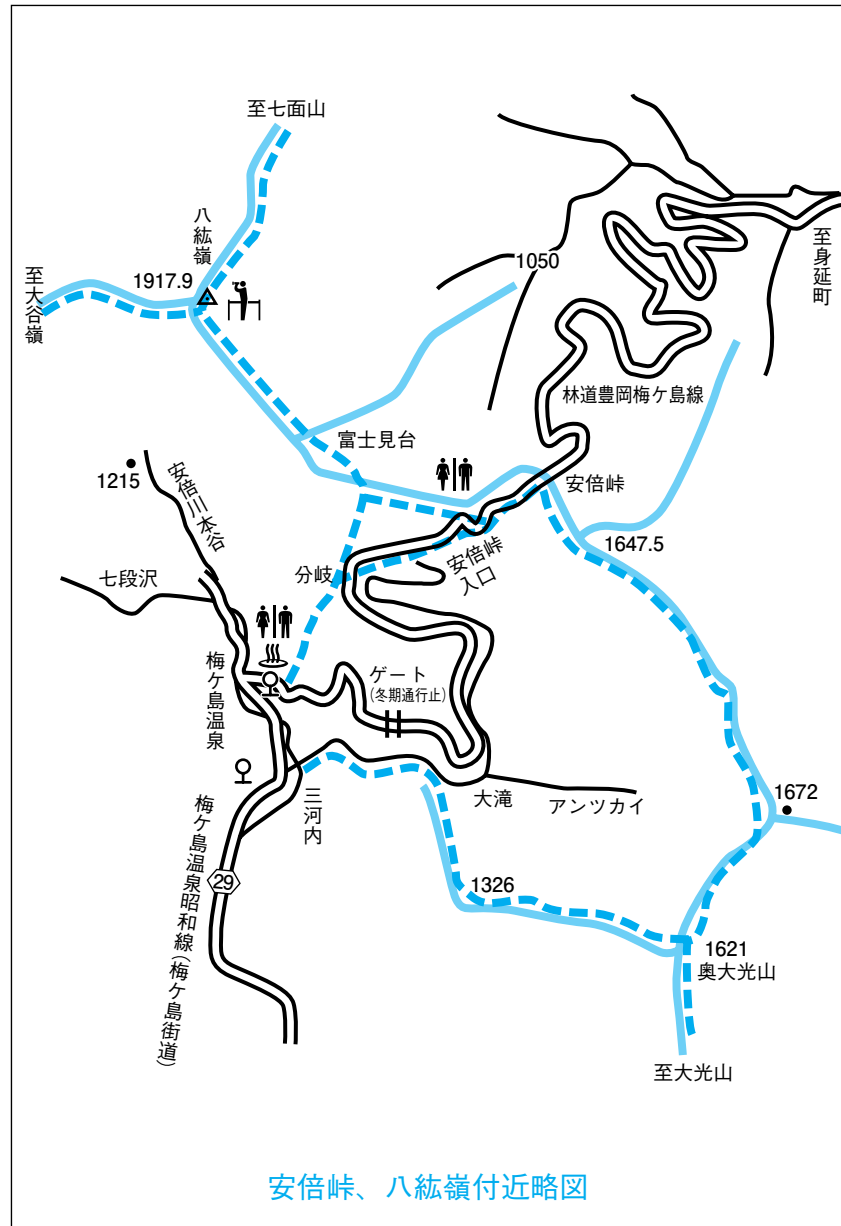
梅ヶ島編

登山計画書・登山届

もしもの場合の命のザイル、
自宅にも置きましょう

詳細記入はより迅速に検索できます

1	目的の山 登山口 下山口 できたらコース詳細	竜爪山 文殊岳 旧道鳥居口 則沢 ○→○→○	行き 9 時頃出発 帰り 15 時頃到着
2	登山日	2018 年 5 月 1 日	
3	登山者名 他同行者	安全 登山 2 名	年代 60
4	登山者住所	静岡市葵区追手町○-○-○	
5	遭難時情報	携帯 987654321 ※ 捜索時の遭難者位置確認に重要です 電話 ○-○-○ ※ 捜索時は直接110番へ。電源は切らず	
	交通手段	バス、タクシー等 または 自家用車、バイク等	
	山岳遭難保険	有 無	※ 生命保険ではありません



安倍峠、八紘嶺付近略図

1 梅ヶ島温泉と安倍峠



コースタイム

JR静岡駅前：120分：梅ヶ島温泉バス停：10分：登山口：60分：八紘嶺分岐：15分：安倍峠入口：30分：安倍峠
 安倍峠：30分：安倍峠入口：10分：八紘嶺分岐：50分：梅ヶ島温泉

コース紹介

静岡から梅ヶ島温泉までは、バスで約2時間で着く。静岡市街から北へ約四〇キロの山あいの静かな温泉街である。安倍峠へは、昭和六十一年十一月に梅ヶ島から山梨県身延町大城まで、林道が全線開通。通行可能期間は四月中旬から十二月上旬までで、大雨や、積雪時には通行規制されている。通行止のシーズンに歩けば静かである。もちろん車が通行している時でも十分楽しめるが、山の中でエンジンの音を聞くのは、

誰もあまり良い気分ではないだろう。安倍峠へ行く時期は新緑と紅葉の車が通行止になっている時をお勧めする。また冬は雪をかぶったブナ林も素晴らしいものである。

梅ヶ島温泉バス停から、林道を10分程行くと左手に八紘嶺、安倍峠登山口の道標がある。登山口からは檜杉の植林地の中をジグザグに急登する。ブナ、ミズナラ等の自然林が出てくると間もなく、先程の舗装された林道と合流する。安倍峠と八紘嶺の分岐である。舗装された林道を五〇〇m程上流へ歩くと安倍峠への道標が見えてくる。サカサ川沿いの山道を流れに沿って歩く。安倍峠はオオイタヤメイゲツの群生や、ブナの大木の中の盆地状で、かつてはとても静かな所だったが、現在はほんの二〇m程上に林道が通っている。

林道にて、富士の姿を見た後、帰りに温泉によってひと風呂浴びて汗を流すのもいいだろう。

※ 利用者が多く、良く整備されている。

※ 山梨県側の林道は、平成29年1月現在通行止めとなっている。

2 梅ヶ島温泉く八紘嶺



コースタイム

JR静岡駅前…120分…梅ヶ島温泉…10分…登山口…60分…安倍峠分岐…40分…富士見台…60分…八紘嶺
八紘嶺…50分…富士見台…30分…安倍峠分岐…40分
…梅ヶ島温泉…120分…JR静岡駅前

コース紹介

梅ヶ島温泉から山梨県大城まで開通している林道を進むと左手に登山口がある。杉、檜の植林された道は急登だが、1時間程で林道と合流する。

ここは安倍峠との分岐で、指導標に従って、八紘嶺へは左の道をとる。辺りはブナ等が目立つ自然林となり気持ちのよい道が続く。途中右側に安倍峠への道を分けるが、小さな道標があるだけなので気づかずに通りすぎてしまうかもしれない。次第に高度を上げ周囲の展望が開けてきて、暫く行くと山梨県側が切れ落ち

た所に着く。

ここが富士見台で、名のごとく、富士を眺めるには最高の場所である。しかし、ガレの縁なので足元には十分注意しなければならない。さらに高度を上げ何回か上り下りがあった後、八紘嶺に着く。周囲の雑木が邪魔をして、三六〇度の展望とはいかないが、富士山や赤石岳、聖岳、遠くには北岳と南アルプスの峰々が眺められ、さらに八ヶ岳までが見える申し分のない頂である。

※ よく整備された道だが部分的にガレの縁を歩く所があるので注意を要する。

3 安倍峠く八紘嶺



コースタイム

安倍峠…30分…東側登山口…50分…富士見台…60分…八紘嶺
…八紘嶺…50分…富士見台…15分…安倍峠への入口…35分…東側登山口…35分…安倍峠

コース紹介

安倍峠、もしくは八紘嶺をそれぞれ登るには余裕がありすぎる人にとっては、この二つを一緒にして登ることができるのがこのコースの特徴である。

梅ヶ島温泉から安倍峠の道は、梅ヶ島温泉く安倍峠のコースを参照する。安倍峠を後にすぐ上にある林道に出る。これを梅ヶ島方向に歩く。舗装された林道で少々味けないが、30分ほどの歩きで、市で設置した便所のある場所に出る。ここが八紘嶺の東側の登山口になる。山梨側からマイカーで来る人は、ここから

登る場合が多い。

便所の横手から、すぐ登りになるが長くは続かない。峰を越え、下りきると尾根の踏跡と左のトラバース道とに分かれる。前者は藪の中の踏跡をたどって、富士見平に直接出る尾根道だが経験が必要である。そこで後者の左の道を取り、刈られた笹の中を15分も歩けば梅ヶ島から続く登山道に合流する。さらに15分も登れば富士見台に着く。この後の八紘嶺への道は、梅ヶ島温泉く八紘嶺を参照する。

※ 市営便所がある登山口から富士見台までの間は道標もありわかりやすいが、一部笹が繁っていて歩きにくい所もあるので注意したい。



梅ヶ島温泉奥 八紘嶺・安倍峠への登山口



安倍峠 オオイタヤメイゲツ林

4 八紘嶺〜大谷嶺（大谷崩の頭）



コースタイム

八紘嶺…110分…大谷嶺
大谷嶺…110分…八紘嶺

コース紹介

梅ヶ島温泉から八紘嶺までのガイドは、梅ヶ島温泉〜八紘嶺を参照する。八紘嶺までの登りは一汗も二汗もかかされたであろうが、八紘嶺から大谷嶺までの尾根歩きはアップダウンの少ない楽しい尾根歩きとなる。

八紘嶺から左方面の道をとり、急な坂を下る。最低鞍部まで標高差一五〇m、ゆっくり下って行こう。再び登り始めると富士山が八紘嶺越しに顔を出してくる。危険箇所と思われる所にはロープが張ってあるので十分注意をしたい。気持ちのよい自然林の中をさらに行くとも標高二、〇〇〇mの大谷嶺（大谷崩ノ頭）に

着く。

駿河湾から安倍奥の山々。目を下に移せば日本三大崩の一つといわれる大崩壊が谷底まで続き、自然の力を教えてくれる。振り返れば南アルプスの主稜線が見え、それぞれ個性ある姿を楽しませてくれる。下山は「大谷崩〜大谷嶺」を参照する。

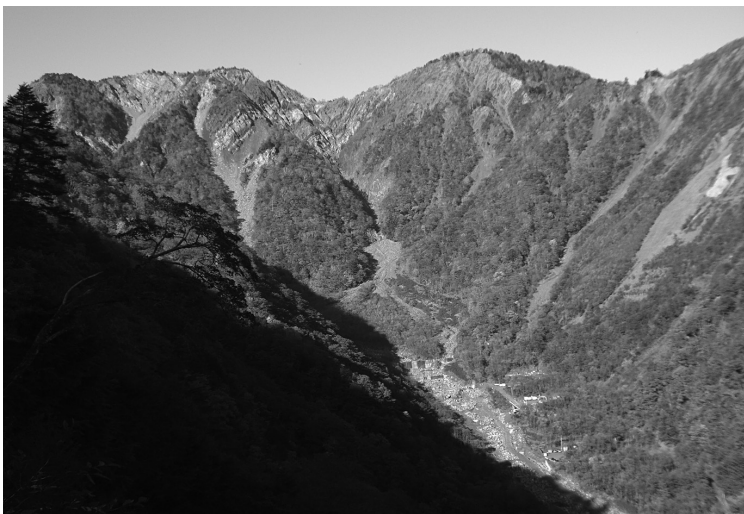
※ 五色の頭〜大谷嶺の間は、山梨県側が伐採され、南アルプスなどの展望が良くなった。

※ 大谷崩れは日本三大崩れの一つで、宝永四年（千七百七年）（赤穂浪士討ち入りの5年後）十月二十八日の日本最大級の地震（推定M8.6）宝永地震で大崩落したと云われている。

※ 大谷嶺は山梨県側では行田山とも呼ばれている。山頂は今でも崩落しているので足元には十分注意したい。



八紘嶺 富士見台より富士山を望む



大谷崩

5 大谷崩く大谷嶺（大谷崩の頭）



コースタイム

JR静岡駅前：110分：梅ヶ島新田：40分：大島：80分
 …大谷崩扇の要：90分：新窪乗越：50分：大谷崩の頭：40分：新窪乗越：60分：扇の要：60分：大島：30分：梅ヶ島新田：110分：JR静岡駅前

コース紹介

梅ヶ島新田バス停で下車。新田集落の中央の道を歩く。途中、大谷川にかかる橋を渡り、幾つかのカーブを曲ると別荘が立ち並ぶ入口に着く。ここは二俣に道が分かれていて、左にとると山伏への西日影沢コースとなる。ここを大島という。

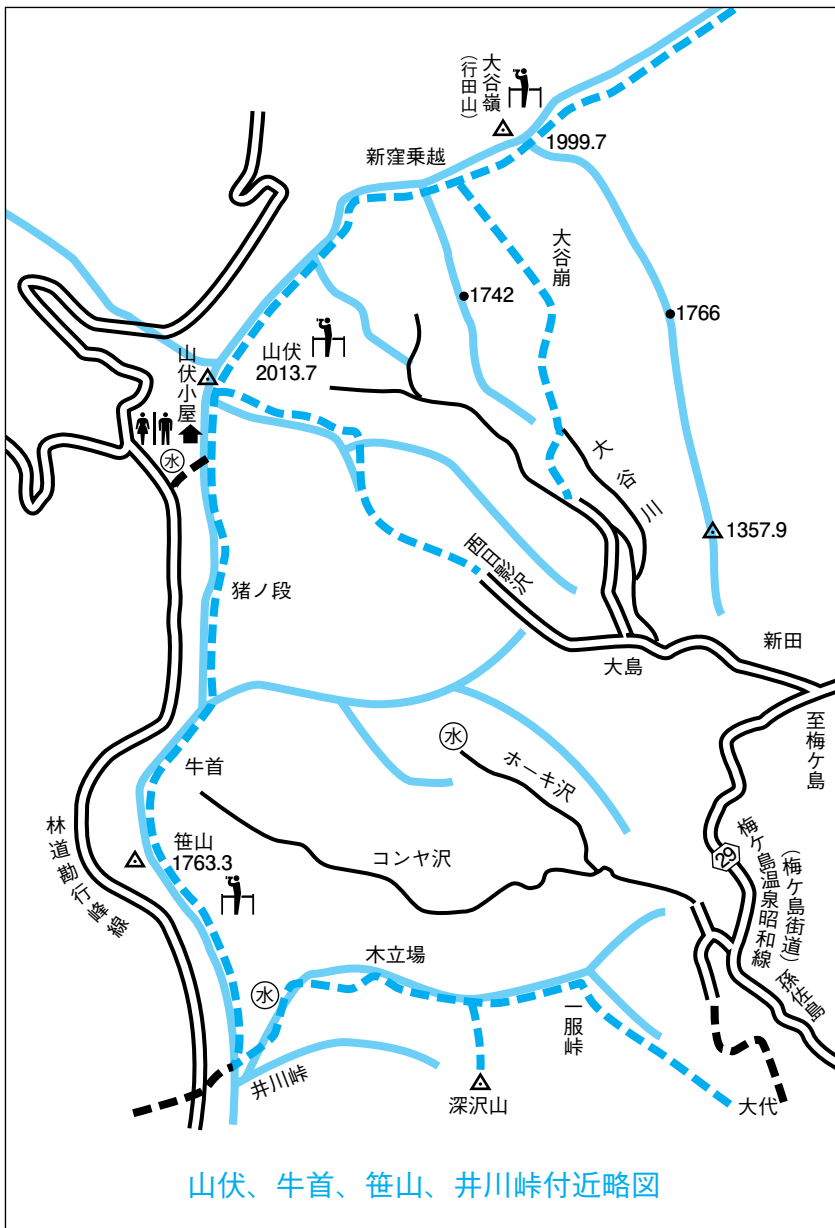
別荘を過ぎ坦々とした林道をさらに歩くこと80分。日本三天崩の一つと言われる大谷崩の異容を眼前に扇の要に着く。この付近までは車でも入れるので、利用して時間の短縮を図るのも良いと思う。登山口から数分のところに大谷崩を紹介した看板があり、その左手

の枯木を渡って樹林帯に向かう。樹林帯を過ぎた後は歩きにくいガレ道を左右からの落石に注意して、ゆつくりと足休めをしながら登ろう。

新窪乗越に着くと、ここからは尾根歩きとなり、道を右にとる。左手の道は山伏に続く道となる。道標もあるので安心である。尾根道といっても、なかなか登り下りがあり、一部崩の縁を歩く所もあるので足元をおろそかにしないよう十分注意したい。大谷嶺は、二〇〇〇mにわずかに及ばぬ嶺だが、展望もよく堂々とした安倍奥を代表する山のひとつといえる。

※ 道標は全体にまとめられ、しっかり付けられている。
 ※ 大谷崩の樹林帯を抜け新窪乗越までの間は、右側から落石が非常に多いので、なるべく左寄りに歩きたい。また、積雪期は落石と雪崩が多発するため、入山するのは大変危険である。

※ 新窪乗越から山頂間の崩れの縁の歩行には十分注意したい。
 ※ 過去に遭難事故が発生しているのでコースから外れないように注意したい。特に大谷嶺から七人作りの尾根には絶対に入らないこと。



山伏、牛首、笹山、井川峠付近略図

6 大谷崩く山伏



コースタイム

新窪乗越…120分…山伏…110分…新窪乗越

コース紹介

新窪乗越付近からは十枚山、竜爪山、そして駿河湾が望める。良く晴れた日（秋冬季）には、伊豆半島の向こうに伊豆大島を見ることが出来る。

大谷崩の登りでかいた汗を、新窪乗越でひくのを待ち、山伏へと出発しよう。小さなコブをいくつか越え、歩きやすい稜線をさらに進む。

高原状の景観に目をうばわれ自然と足どりも軽くなるだろう。笹が一面に広がる台地を鹿の踊場といい、良く捜すとケモノ道をあちこちに見つけることができる。これを過ぎ、立枯れの巨木が笹原に目立つようになる。山伏はすぐである。

頂上からの展望はさすがに良く、安倍奥の最高峰に

7 西日影沢く山伏



コースタイム

JR静岡駅前…110分…梅ヶ島新田…40分…大島…40分
…西日影沢登山口…40分…大岩…60分…蓬峠…120分
…山伏、牛首分岐…15分…山伏…60分…蓬峠…60分
…西日影沢登山口…40分…大島…40分…梅ヶ島新田…110分…JR静岡駅前

コース紹介

梅ヶ島新田でバスを下車。大谷崩への道を別荘が建ち並ぶ大島まで歩く。ここが大谷崩と西日影沢の分岐で、道を左にとる。舗装された道から、未舗装の道が西日影沢の登山口まで続く。指導標がある登山口を後に、よく踏まれた沢沿いの道を進むと間もなく、ワサビ田が現われ、これらを横に見てしばらくすると灌木帯に入り、さらに行くと大岩に突

ふさわしい。また、井川側には林道が開通し、30分程で登ることもできるようになったが、やはり長時間かけて二、〇〇〇mの頂を踏んだ時は感激もまたひとしおである。



山伏山頂のヤナギラン

山伏の山頂はヤナギランの有数な植生地となっており、木道が整備された公園となっている。毎年8月のお盆の頃、満開期に合わせて、多くのハイカーが訪れる。

き当り右に道をとる。指導標もあるので迷うことはないだろう。再び沢に出るが、注意すれば対岸の道は見つけられる。さらに進むといつしか沢を離れ、山腹のわりと急な道を登って行くところこのコース最後の水場に出る。一休みするには丁度よい場所だ。ここから蓬峠まで20分程で、辺りはブナ等の自然林に変化してくる。峠を後に急な道をジグザグに登り一汗かく頃に尾根に出る。吹く風も気持ちいい。これから尾根沿いにさらに登りを続けると突然、山伏手前の平坦地に飛び出る。明るく開けた風景に今までの苦勞を忘れる。モミの大木の立ち並んだ踏み跡をたどると標識があり、牛首との分岐に出る安倍奥の主稜線だ。

道を右にとり15分も歩けば笹に覆われ、モミの疎林が立ち、素晴らしい高原風景を展開している山伏の頂上に着く。南アルプスはもとより富士山の眺めが一段と素晴らしい山頂である。

※ 蓬峠付近に崩壊箇所がある。注意して歩きたい。



コースタイム

山伏…10分…西日影沢分岐…10分…山伏小屋…60分
 …牛首…30分…笹山…50分…井川峠…30分…木立場
 …15分…分岐…30分…一服峠…35分…大代…40分…
 六郎木
 六郎木…60分…大代…70分…一服峠…50分…分岐…
 10分…木立場…45分…井川峠…60分…笹山…20分…
 牛首…100分…山伏

コース紹介

※ 牛首から西日影沢間は非常に危険なため、二〇一〇年よ
 りみどりの道から除外しています。

山伏山頂より西日影沢分岐まで戻り、さらに指導標
 にしたがって主稜線を南下して行くと、大きなガレの
 頭に出る。このガレは西日影沢より正面に見える「扇
 の崩」である。ガレの縁を右に巻くように下って行く

と間もなく山伏小屋の分岐に着く。水場もあり、一夜
 を過ごすには格好の場所だ。牛首へはさらに南下する。
 背丈の低い笹の中を登り下りしながら進む。この辺り
 は冬は一面雪原となり、素晴らしい所である。

大きなダケカンバの樹林を抜けると笹は次第に丈が
 高くなり、右手方向には林道が見える。小屋から30分
 程で猪の段に着く。ここから右方向、林道へ出る道も
 最近開かれて、県民の森方面から車で入ることも出来
 る。猪の段より大きく道は右に巻き、左手にコンヤ沢
 の谷が見え、道は急勾配となる。下り切った所が梅ヶ
 島新田への分岐で指導標もある。牛首は、さらに三〇
 m位先である。(間違ってもガレの中へ入らない事。
 このガレはコンヤ沢の源流部で過去に遭難事故が発生
 している場所である。岩下分岐まで数ヶ所ガレの中を
 通過するが、踏み跡を見失うことの無いように、注意
 して歩こう。)

牛首より稜線をやや左寄りに登る。笹山へは一投足
 である。笹山山頂は生い茂る笹を足元に井川湖、茶
 白岳、聖岳、山伏、富士山と素晴らしい景観である。

ベンチとテールブルもあり一服するのに最適な場所だ。

展望を楽しんだら井川峠へ向かおう。始めは下り、二
 つほどのコブを越えシラカバ、ダケカンバ落葉松の織
 りなす林の中のプロムナードが続く、県民の森の延長
 であるこの辺りの道も整備され歩きやすいのでファミ
 リーでも楽しめるだろう。紅葉も美しい場所である。

井川峠には立派な標識がある。尾根を直進すれば大
 日峠。右へ下れば井川湖に出る。大代へは左(東側)
 の道をとおり、沢沿いに下る。水の補給できる沢を四回
 ほど渡り返し、しばらくすると木立場に着く。倒れか
 けたブナの前から、尾根上の新しく開かれた道を登る。
 以前からの道は、危険なので通行禁止になっている。
 15分程で分岐に着く。まっすぐは5分程で展望の良い
 深沢山への道。深沢山からは静岡市街地や駿河湾など
 が遠望できる。

一服峠へは左の自然林の尾根を下る。峠より左の孫
 佐島への道は一般向きではない。大代へは右へ植林地
 の中を下る。出口にはシカ除けネットが設置されてい
 るため、通行時には扉を必ず閉めてください。大代首

のアルミ橋を渡れば間もなく大代集落に出る。舗装路
 を左へ下りT字路を右へ集落の中を下れば、六郎木バ
 ス停へ着く。

※ 西日影沢を渡る時、増水時は要注意、登山を中止したい。

秋は落葉が多い。道に迷わぬよう注意したい。

木立場と一服峠間は、平成10年9月に新たな道が拓れ、
 指導標・標識が設置された。



コースタイム

JR 静岡駅前…110分…草木バス停…40分…草木…60分
 …東峰分岐…20分…作業小屋…50分…大光山
 大光山…40分…作業小屋…20分…東峰分岐…50分…
 草木…30分…草木バス停…110分…JR 静岡駅前

コース紹介

JR 静岡駅前から安倍線（梅ヶ島温泉行き）のバスに乗り、草木のバス停で下車。バス停から県道と別れて舗装された道を草木の集落へと向かって歩き、集落を左に見て更に奥へ行く。林道の終点から茶畑の中の道へ。また河原へ下りて行く道もいずれもすぐ杉林の中で合流する。

杉、檜林の急なジグザグの道を登り、東峰との分岐を過ぎ更に刈安峠（廃道になっている）への分岐も過ぎて少し登ると作業小屋の前に出る。小屋の前に水が

10 大光山〜奥大光山〜安倍峠



コースタイム

大光山…30分…奥大光山…25分…大笹の頭…30分…
 ワサビ沢の頭…40分…バラノ段…20分…安倍峠
 安倍峠…30分…バラノ段…40分…ワサビ沢の頭…30分…
 大笹の頭…30分…奥大光山…30分…大光山

コース紹介

大光山から笹と樹木をまじえた尾根を北上する。笹は刈られているのでとても歩きやすい。奥大光山までの展望はあまり期待できないが、緩やかなピークを登り下りして笹の中の道を気持ち良く歩く。平らな所に出ると奥大光山から梅ヶ島三河内へ下る指導標が目につく。ここが奥大光山、なんのへんてつもない所だ。

かつては三河内への下山口は猛烈な笹であったが最近、刈り払われて歩きやすくなった。奥大光山からの道も笹の尾根道で相変わらず気持ちのいい歩きが楽し

引かれているので水の補給ができる。植林の中のジグザグの登りを終え、尾根の道に変わると笹が多くなってくる。笹の尾根が広がると大光山の山頂も近い。大光山手前のなだらかな所からの刈安峠方面、奥大光山へ続く笹の尾根の縁がとても素敵だ。

大光山三角点の手前に刈安峠、十枚山へと続く分岐がある。山頂の西端に行き南アルプスを眺めた後、来た道を戻り、広々とした笹の尾根でゆっくり南アルプスの展望を楽しみながらお弁当を広げるのも気持ちがいいだろう。

※ コースも指導標もしつかりしている。

大光山山頂付近の南側東斜面は、崩壊により尾根が崩れているので展望を楽しむ時には十分注意したい。

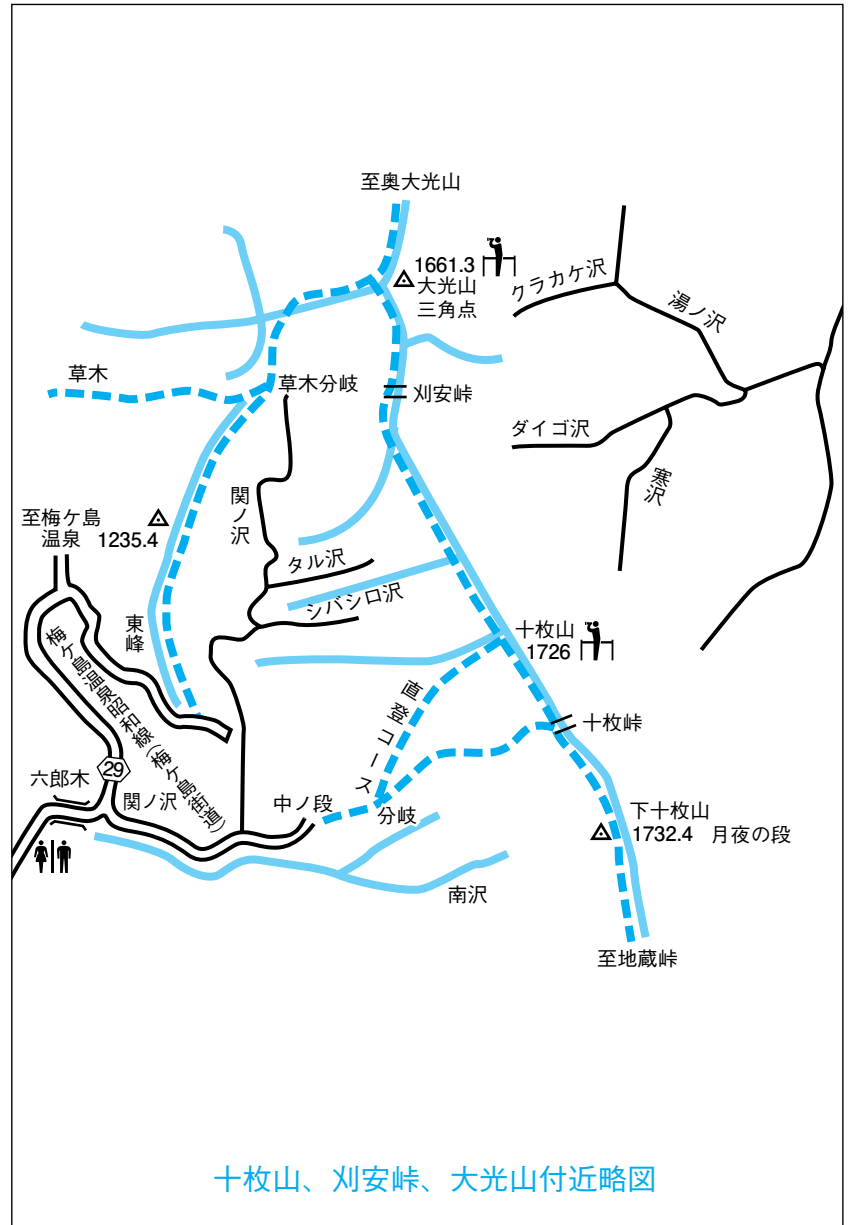
※ 刈安峠へは現在廃道となっている。まぎらわしい道標は撤去してあるがくれぐれも注意が必要である。

める。広々とした尾根からだんだんとやせてくると安倍峠も近くなってくる。

小ピークをいくつか越し、最後のピークに立つとバラノ段である。山梨側が見えるので一休みするのもいい。バラノ段付近は尾根がやせているので、登り下りは気をつけよう。イワカガミが多く目に付く所だ。山梨側の伐採地が出てくると峠も近い。笹の中の尾根道を一気に下ると安倍峠である。

※ 道標もあり、笹も刈り払われていて整備されている。

※ 危険箇所と思われる所には、ロープが張つてあるので十分注意をしたい。



11 関の沢〜十枚峠〜十枚山



コースタイム

JR 静岡駅前…100分…六郎木…60分…中ノ段…120分…
 十枚峠…30分…十枚山
 十枚山…20分…十枚峠…90分…中ノ段…50分…六郎木…100分…JR 静岡駅前

コース紹介

JR 静岡駅前から安倍線の六郎木バス停で下車。安倍川を渡り、関ノ沢集落の中を進む。関ノ沢と南沢の合流点から南沢に沿った車道を行く。やがて、車道は南沢沿いと中ノ段への分岐になるのでこれを左、中ノ段方向に進む。すぐに駐車可能な場所に出るので、マイカーの場合は、ここに駐車したい。集落の中だと道も狭く、迷惑をかけることになる。舗装された道を進み、中ノ段の集落を抜けると間もなく登り口に着く。杉の植林地のガラガラした登山道を登るとやがて杉林も大

きくなり暗い急登からやや横道になり、南側が開けた所に出ると十枚山直登との分岐に着く。

直登コースは道標もあり、道もしつかりしているが急坂である。十枚峠への道はここより山腹を巻きながら徐々に高度を上げて行く。途中、三ヶ所沢を登るが付近はガレているので注意して渡りたい。最後の水場で水を補給する頃、ようやく急登も終り、峠へとゆつくりと高度をかせぐようになる。峠手前のカラマツの植林地の急登を抜けると一面が低い笹に覆われた所に出て、十枚峠に着く。峠の東側を下れば山梨県南部内船に出られるが、相当の健脚者でなければ実行しないほうがよい。

峠から十枚山へは見た目よりも長い登りで特に頂上直下は急であり、雨上がりの後は滑べりやすいので注意して行動しよう。頂上からの展望はすばらしく三六〇度の展望を楽しむことができる。

※ 沢付近のガレはかなり危険、通過には注意する。

※ 平成29年1月現在、沢コースは通行が困難なため、直登コースの利用をすすめている。

12 十枚山く刈安峠く大光山



コースタイム

十枚山…130分：刈安峠…40分：大光山…40分：刈安峠…160分…十枚山

コース紹介

十枚山から広葉樹林の中を下って、笹の刈り払われた登山道をなおも進む。一、六三二m標高地点は南側が窪地になっていて、平らなピークで南アルプスの展望がよい。一、六三二m峰から笹の枯れた所を通り下って行くと、間もなく岩の露出した細尾根になり、やがて一面に枯れた所にでる。やがて緩やかに登り返すと山梨県側が大きくガレている所に出る。黒崩と呼ばれ、谷底まで見えるすさまじいガレである。ガレから10分程度で刈安峠に着く。刈安峠付近はブナなどの自然林に囲まれた雰囲気のある峠である。この峠は、甲、駿の集落を結ぶ生活道であったが道路網の発達により、現在は通行不可能である。刈安峠からすぐの急坂を登る。

刈安峠と大光山のほぼ中間のピークは眺望がよく南アルプスの峰々が見える。大光山までは自然林で山梨側は非常に急峻な様相をしている。大光山の山頂は東西に大きく広がっており、東端には三角点があるが灌木があり展望はない。しかし西端に立てば展望がきき、南アルプスの布引山、策ヶ岳が見え、澄んだ空の時には遠く北岳まで望見することができる。

山頂からは草木へと整備された道が続いている。また、草木コース以外には東峰コースがあり「草木・東峰」分岐から約60分で東峰集落へでる。途中、二ヶ所ほど崩れた所を通過するがいずれも道がしっかりしているので安心して歩ける。東峰からバスが走る街道まではさらに30分ほど下らなければならぬ。下り着く場所は、本村の集落だ。車を利用する場合は梅ヶ島テニスコート脇から東峰まで林道を走ることが出来る。但し、駐車については細心の注意が必要である。

※ 途中の刈安峠から関ノ沢には絶対に入らないこと（廃道になっている。）

※ 黒崩では谷底をのぞきこまないこと、非常に危険である。

13 有東木〜葵高原〜地藏峠



コースタイム

有東木…60分…葵高原…35分…正木峠…40分…地藏峠
地藏峠…30分…正木峠…25分…葵高原…50分…有東木

コース紹介

地藏峠へは有東木までバスが入るので時刻を調べて利用すると便利である。有東木のバス停から東へ進み、お寺を右に見て、火の見やぐらの下を通り、茶畑の石段が上がって行く。舗装された林道を左へ折れる。この林道はそのまま葵高原まで続いているので車を利用する人は、高原まで乗り入れができる。

地藏峠へは看板の後の細い道へ入って行く。一度、林道を横切り、ワサビ田の横を通りつづら折れの急坂となり、正木峠への登りが始まる。峠に着く頃には

一汗かいていて藤代側からの風が気持ち良い。地藏峠へは林道を少し進み右に折れる。木々の間に安倍奥の山々や南アルプス南部の山々が望まれるようになる。左側に峠から十枚山方面へ延びている笹の尾根が見えてくる。峠までは近い、もうひと頑張りだ。地藏峠は名前の通り地藏さまが祀られている静かな所だ。

月夜の段方向へ二〇m程行った所にある地藏さまの前からは駿河の海と、その向こうに愛鷹連峰や富士山を見ることが出来る。十枚山、浅間原どちらも切り開かれた笹の中の尾根歩きとなる。

※ 指導標は登山口から地藏峠まで、また稜線の青笹山までしっかりとついている。

※ 葵高原〜正木峠間は、崩落箇所があるため林道を通行すること。

14 地藏峠〜下十枚山〜十枚峠



コースタイム

地藏峠…120分…下十枚山…30分…十枚峠
十枚峠…40分…下十枚山…80分…地藏峠

地藏峠から十枚山へは刈払われた笹の中を登り、檜林の中に入ると苔むした石がゴロゴロしているとても

良い所に出る。檜林からブナなどの自然林になると一、六五二m標高地点になる。ここから緩やかに下り、右側のガレを過ぎると山梨県の富沢町と南部町の境に出る。

一、六八二m標高地点を過ぎると道は下りになり、足元が腐葉土でクッションになり気分が良い。稜線歩きになりやがて下十枚山の登りになる。山頂に近づくと大きな露岩がでてくる。露岩の上に立つと今まで歩いて来た道が見え、また安倍奥の山や南アルプスを望

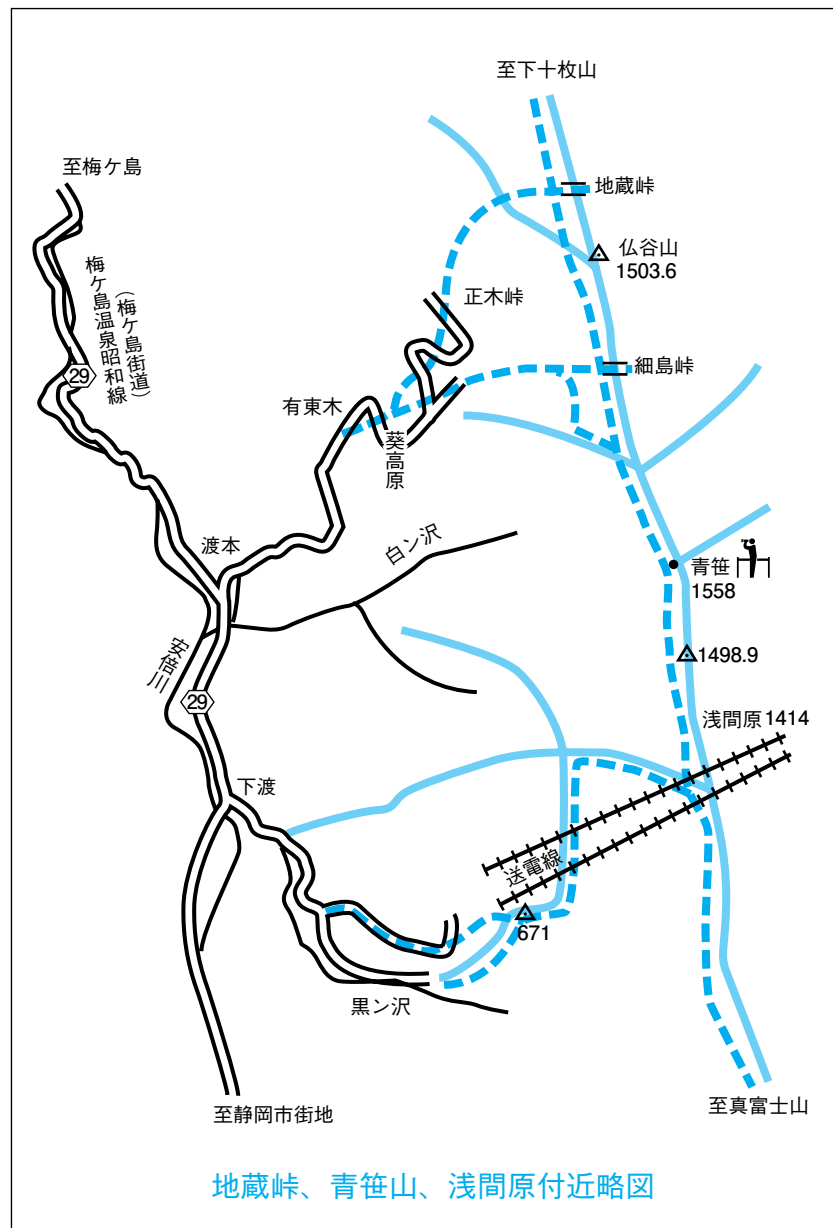
むことができ、疲れを忘れさせてくれる。

露岩から少し登ると下十枚山に着く。山頂は灌木に囲まれ展望はない。ここには二等三角点標石があり、安倍川左岸の山々の最高峰でもある。

下十枚山からは急な坂道を西側に回り込んで下って行く。途中、南アルプスの布引山や笹ヶ岳が見える場所がある。十枚峠に近づくと道も緩やかになり、東側の自然林と西側の笹の中を進むと十枚峠に着く。峠は西側が広く開けた草原状の展望の良い所である。

※ 町境、市町境付近は測量用の作業道があるので、尾根からはずれないようにしたい。

※ このコースは長時間の歩行を要するので、日の長い春の新緑時期を利用したい。(シロヤシオが数多く分布している。)



15 地蔵峠〜青笹〜浅間原〜下渡村



コースタイム

地蔵峠：20分：仏谷山：20分：細島峠：60分：青笹：
40分：浅間原：40分：分岐：70分：下渡村

コース紹介

地蔵峠から浅間原へは指導標にしたがって主稜線を右(南)にとり、仏谷山の登りにかかる。稜線の廻りにはブナの巨木が数本あり、気持ちがいい。仏谷山からは、細島峠に向かって下る。地蔵峠登山口の手前に右へ入る林道があるが、これはこの峠に通じている。青笹へは登り下りをくり返して行くと正面に青笹の笹原が見えてくる。頂上は北(一、五五八m)と南の二つの峰に別れていて、南峰から東へ田代峠への道が拓かれています。青笹からは駿河湾、富士山、遠く南アルプスまで三六〇度の景観が楽しめる。

青笹から10分程下がった峰からも大平への道がつけ

られている。笹の茂った尾根道を行くと送電線の鉄塔がある浅間原に着く。北側の鉄塔下から興津川の上流、大平への道がある。この鉄塔の西側で道は二つに別れる。稜線を南に下れば真富士方面、西に下れば下渡村に出る。下り始めて最初の鉄塔を過ぎるとも間もなく作業小屋に着く。植林帯の急な坂をなおも下ると途中、左からの山道と合流する。右に道をとると崩れた所に出て、その下に古い木の橋がある。傷みがひどいので要注意だ。さらに下ると南側が急坂で北側は足元まで崩れがせまっているので通過には慎重を要する。ここを無事通過すれば、尾根道と山腹道とに別れるが尾根道の方が歩きやすい。この下で再び道は別れるがどちらをとっても下の林道に出られる。林道に出るからは約30分で下渡村のバス停に着く。

※ 浅間原から下渡村の間は一部崩れたり、丸木橋が落ちたりしている箇所があるため通行には十分注意をしたい。また、近年熊の出没が見られるため十分な注意が必要である。

